

令和 8 年度

一般選抜学生募集要項

〔前期日程・後期日程〕



本学では、インターネット出願を導入しています。

冊子による学生募集要項の配付は行いませんので、本学入試情報特設 Web サイト (<https://www.aichi-edu.ac.jp/exam/>) から閲覧またはダウンロードしてください。

令和 8 年 4 月入学者用の学生募集要項です。

愛知教育大学

目 次

アドミッション・ポリシー	1
令和8年度 愛知教育大学一般選抜日程の概要	3
1. 募集人員	4
○ 各専攻・専修・コースが望む学生像	5
2. 出願資格	8
3. インターネット出願登録及び出願受付期間	9
4. 出願方法	9
5. 出願手続	9
(1). 出願書類等の提出	9
(2). 出願書類等	10
(3). 出願にあたっての留意事項	12
6. 障害のある入学志願者との事前相談	13
7. 受験票及び受験案内のダウンロード, 印刷	13
8. 免許教科の決定について	14
9. 教育・学習データ利活用について	14
10. 個人情報の取り扱いについて	14
11. 入学試験個人成績の開示	15
12. その他	15
13. 前期日程	16
14. 後期日程	28
○ 〈参考〉 (昨年度) 令和7年度入学 個別学力検査等結果	39
◆ 愛知教育大学へのアクセス, Webサイト 入学試験中止又は試験開始時刻変更等のお知らせ, お問い合わせ先	41

アドミッション・ポリシー

愛知教育大学は、広域の拠点的役割をはたす教育大学として、人間理解と真理探究に努め、教育が直面する現代的課題への対応力を有し、子どもたちの未来を拓くことができる豊かな人間性と確かな実践力を身に付けた専門職業人の養成を使命としています。

学校教員養成課程では、幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等の教員として活躍できる専門的な知識・技能を有し、教育諸課題に適切に対応できる教員の養成を目的としています。

教育支援専門職養成課程では、心理・社会福祉・教育行政等の専門的な知識と技能を有し、教育活動と子どもたちを支援することができる専門職の養成を目的としています。

そこで、次のような人を求めています。

- ◎子どもの成長に関わることに喜びを感じ、将来、教員や専門職として学校教育に携わる強い意欲を持つ人
- ◎確かな基礎学力を有し、関連する幅広い分野の学びに关心を持つ人
- ◎創造力や探究心を持つ人
- ◎多様な考え方や価値観を持つ人を認め、自らの考えを表現しながら協働できる人
- ◎学校と地域社会との関わりに关心があり、地域の活動に参加することができる人

(入学者選抜の基本方針)

【一般選抜前期日程】

一般選抜における前期日程では、大学入学共通テストの成績（950点満点）とともに、個別学力検査（教科に関する問題または総合問題または実技検査または面接）（学校教員養成課程400点満点、教育支援専門職養成課程300点満点）、小論文（学校教員養成課程のみ、100点満点）、出身学校の調査書（10点満点）により評価します。

◎知識・技能

学校教員または教育支援専門職として求められる基本的な資質・能力と実践的指導力（教育支援専門職では実践力）の習得に必要な確かな基礎学力を有しているかを、大学入学共通テスト、個別学力検査及び調査書で評価します。

◎思考力・判断力・表現力

問題を発見し解決するために求められる思考力・判断力・表現力の基礎が育まれているかを、個別学力検査、小論文（学校教員養成課程共通）、調査書で評価します。また、大学入学共通テストでも思考力を評価します。

◎意欲・関心・態度

教育を支える専門職として学校教育に携わる意欲や教育に関する問題意識を小論文（学校教員養成課程共通）及び総合問題（教育支援専門職養成課程）により評価します。さらに、障害のある子どもへの愛情と成長への関心と情熱、創造力・探究心を面接（特別支援教育専攻）で評価します。

◎主体性・協働性

主体性と協働性を調査書、面接（特別支援教育専攻）で評価します。

【一般選抜後期日程】

一般選抜における後期日程では、大学入学共通テストの成績（学校教員養成課程 300 点満点、教育支援専門職養成課程 950 点満点）とともに、AP 試験（300 点満点）により評価します。なお、出身学校の調査書、本人記載資料の「教職志望理由書」（学校教員養成課程のみ）は、AP 試験における資料として用います。

◎知識・技能

学校教員または教育支援専門職として求められる基本的な資質・能力と実践的指導力（教育支援専門職では実践力）の習得に必要とされる確かな基礎学力を有しているかを、大学入学共通テスト、AP 試験で評価します。その際、調査書を資料として用います。

◎思考力・判断力・表現力

問題を発見し解決するために求められる思考力・判断力・表現力の基礎が育まれているかを、AP 試験で評価します。また、大学入学共通テストでも思考力を評価します。その際、調査書を資料として用います。

◎意欲・関心・態度

学校教員または教育支援専門職として学校教育に携わる意欲のほか、子どもへの愛情と子どもの成長への関心と情熱、創造力・探究心を AP 試験で評価します。その際、調査書と「教職志望理由書」（学校教員養成課程）を資料として用います。

◎主体性・協働性

主体性と協働性を AP 試験で評価します。その際、調査書を資料として用います。

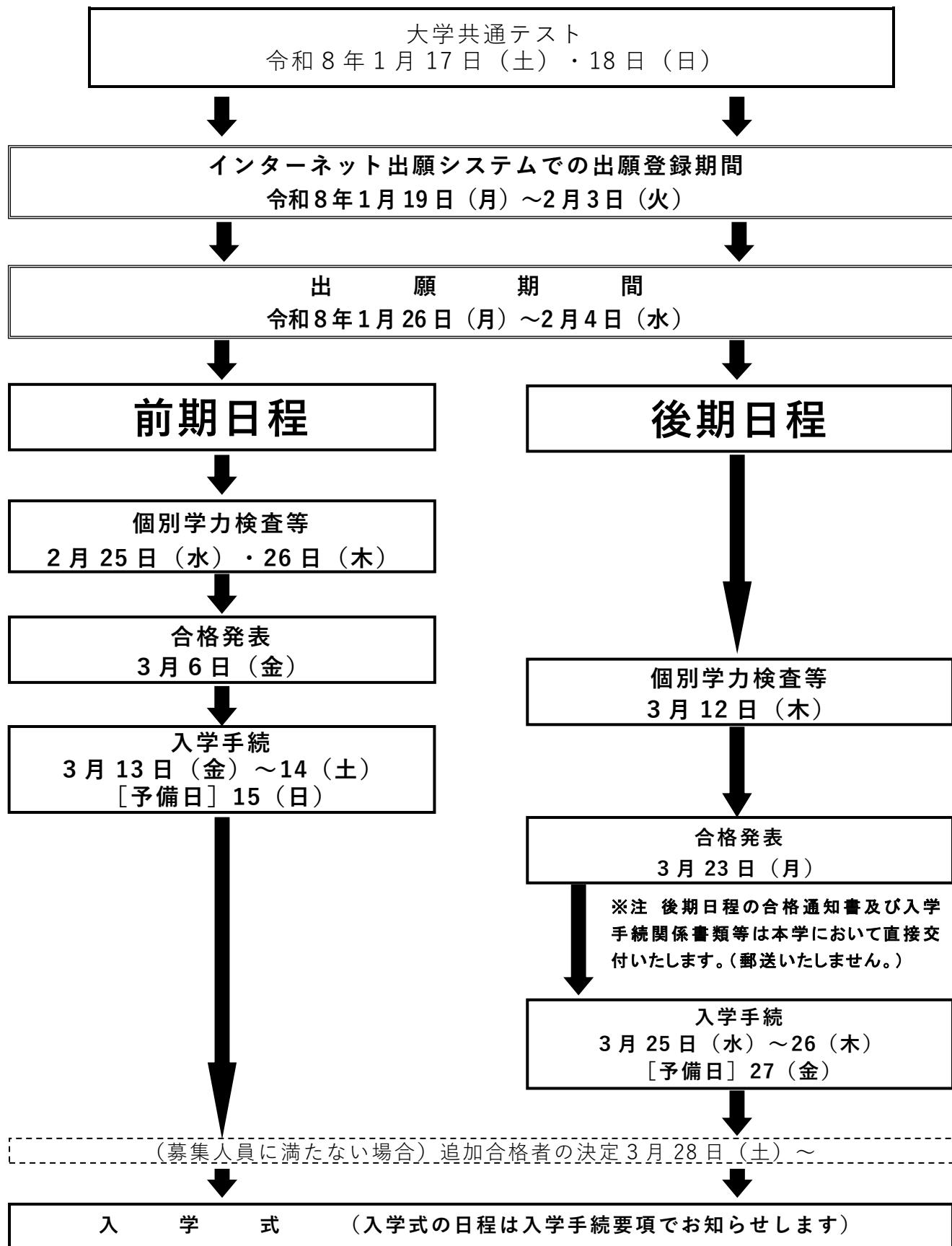
本学への入学前に学習しておくことが期待される内容

本学では、学校教員や教育支援専門職の養成にあたり幅広い教養と基礎学力等を身に付けていることを求めていきます。そのため、本学に入学するまでに学習しておくことが期待される内容は、以下のとおりです。

- ① 高等学校段階までの教育課程における基礎的・基本的な知識・技能と思考力
- ② 自らが専攻しようとする教科等に関わる基本的内容
- ③ 上記①②を通して、多面的・多角的にものごとをとらえ、論理的に思考・判断できるように幅広く学びを深め、探究する態度

なお、将来、学校教育に教員または教育支援専門職として携わることを望む者として、高等学校段階での教育課程による学びだけでなく、自ら子どもとの交流経験を求めたり、学校教育及び教育に関わる諸問題への関心を深めたりするための主体的な学びや活動を通して、多様な価値観や考えを持つ人々とコミュニケーションする力や、自らの考えを深めてそれを表現する力を身に付けておくことを望みます。

令和8年度 愛知教育大学一般選抜日程の概要



1. 募集人員

募集人員 859名

課程/専攻/専修/コース		入学定員	募集人員	募集人員(内訳)					学校推薦型選抜	
				一般選抜		総合型選抜				
				前期日程	後期日程	一般受験	帰国子女	外国人留学生		
学校教員養成課程	義務教育専攻	729	30	18	3	2	-	若干名	7	
			30	17	4	2	7			
			10	5	-	2	3			
			20	14	-	2	4			
			23	14	2	2	5			
			60	37	4	2	17			
			71	39	10	3	19			
			76	44	6	2	24			
			84	54	4	2	24			
			30	17	4	6	3			
			30	18	3	4	5			
			60	36	6	9	9			
			15	9	-	4	2			
			30	18	3	2	7			
			16	11	-	2	3			
	高等学校教育専攻	教科習習開発系	10	6	2	-	2			
			9	5	2	-	2			
			14	10	2	-	2			
			24	15	2	-	7			
			17	10	2	-	5			
	特別支援教育専攻		30	15	6	3	-		6	
	養護教育専攻		40	25	3	2	若干名		10	
	小計		729	437	68	51	若干名	若干名	173	
養育成支援専門課程	心 理 コ ー ス	130	50	30	5	-	若干名	若干名	15	
			20	10	4	-			6	
			60	30	15	-			15	
			130	70	24	-			36	
合 計		859	859	507	92	51	若干名	若干名	209	

(注1)一般選抜の募集人員には、総合型選抜(帰国子女対象)及び総合型選抜(外国人留学生対象)の「若干名」を含みます。

(注2)「総合型選抜」「学校推薦型選抜」の合格者(入学手続者)が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜の合格者で補充します。

○各専攻・専修・コースが望む学生像

アドミッション・ポリシーをふまえ、各専攻・専修・コースは、次のような学生の入学を望みます。		
学校教員養成課程 義務教育専攻	幼児教育専攻	乳幼児を取り巻く諸問題に興味・関心があり、幼児教育・保育に関する専門的知識に関心をもつとともに、子どもに共感し、環境を通した遊びを中心とした保育を構想し、柔軟に展開できる資質・能力として、特に、子ども理解にもとづくコミュニケーション能力や問題解決力、協働や創造の力などを身につけることに意欲的な者を望みます。
	学校教育科学専修	実践的指導力を有する教員の養成を目的に、教育学、キャリア教育学や教育心理学などの教育諸科学に関する専門的知識に関心をもつとともに、「ものごとを多角的に理解し、多様性を尊重する力」「他者と協働し、課題に取り組む力」「答えのない課題に対しても、情報を収集しながら意欲的に取り組む力」を有する者を望みます。
	生活・総合専修	児童・生徒の興味・関心に目を向け、それらを教材として組み立てるために必要な子ども理解の視点や専門的知識に関心をもつとともに、体験から生まれる学びを価値づけたり、地域の題材から課題を設定し解決をしていく探究のプロセスの構想、そこにもとづく指導計画を立案したりすることに意欲的な者を望みます。
	ICT活用支援専修	ICTやICTを活用した教育に興味関心があり、物事を論理的に考えることができ、ICTを使って問題を解決したり物事を効率的に進めることに意欲をもつとともに、将来、情報モラル育成のための専門的知識やICTを積極的にかつ有効的に教育に活用できる技術を身につけたいと考えており、卒業後は、学校でICTの活用やプログラミングを教えたり、学校全体の情報化に中心的に貢献することを希望している者を望みます。
	日本語支援専修	日本語支援専修は、日本語教育を学ぶだけでなく、日本の義務教育（小中学校）の教員としての専門的な知識・技能を習得することが目的です。言語文化背景が異なる子どもたちをめぐる諸問題に関心があり、その子どもたちを支援するために必要な専門的知識を積極的に得ようととともに、特に、子どもの多様性を認める力や問題解決力、協働の力などを身につけることに意欲的な者を望みます。
	国語専修	国語科や国語科を核とした関連諸分野、および言語やリテラシーなどに興味関心があり、それらを教えるために求められる専門的知識に関心をもつとともに、特に、ものごとを読み解く力、論理的な思考力や創造力などを身につけ、将来教育現場において、それを生かしていくことに意欲的な者を望みます。
	社会専修	社会科や社会科を核とした関連諸分野に興味関心があり、それらを教えるために求められる専門的知識に関心をもち、特に、社会的な諸事象を読み解く力、知識と知識を結びつけて新たな知を導き出す力、論理的な思考力や判断力、創造力や探究心を育むことに意欲的であり、かつ多様な価値観を認めて対話や協働を行うことができ、教員として学校教育に携わる強い意欲をもつ者を望みます。
	算数・数学専修	算数・数学科およびその関連諸学科とそれらの学習を通じた児童生徒の知的成長に興味関心がある者を望みます。また、それらの教育に必要な専門的知識に関心をもち、高等学校「数学III」の素養を前提として、数量的スキルや数学的な考え方・表現力等を身につけることに意欲的な者を望みます。算数・数学をよりわかりやすく教えたり、そのおもしろさや有用性を伝えられる教員をめざして、努力しようと志す者を望みます。

		理科専修	児童の身のまわりのものや現象に興味関心があり、それらを教材として組み立てるために必要な専門的知識に関心をもつとともに、特に、自然科学に関する客観的思考力や分析的思考力、合理的にものごとを説明する力などを身につけることに意欲的な者を望みます。また、自然への敬愛や科学技術の素晴らしさを具体的に分かりやすく教えたり、その意義や有用性を伝えたりできる教員をめざして、努力しようとしている者を望みます。
		音楽専修	児童生徒をとりまく音や音楽、および音楽表現に興味関心をもち、本学入学以前には、基礎的な音楽技能を身につけ、さらに教科書に記載された基礎的な音楽理論や音楽史に関する事項を学習しておくことを期待します。入学後は、音楽に関する創造力と構成力、答えのない問題に解を見出していく力、および音楽表現に必要な技能などを身につけたいと考える者で、将来、教育現場においてこれらを生かしていくとする強い意志をもつ者を望みます。
		図画工作・美術専修	美術鑑賞や制作活動などに興味関心をもち、本学入学以前に観察力や基礎的な描写力などを十分にもっていることを期待します。入学後は、美術に関する創造力と構想力、表現に必要な技能などを身につけることに意欲的に、図画工作・美術教育を通して感性や想像力を育み、生活や社会の中の美術や文化と豊かに関わる子どもの育成に意欲のある者を望みます。
		保健体育専修	スポーツに親しみをもち、スポーツ実践を介した豊かな経験を有し、かつ健康に関する内容に興味関心がある者を望みます。また、人と広く交流し、コミュニケーションをとることができると資質や能力を有し、子どもに愛情をもって寄り添い、支え続け、子どもの成長にかかる教員になろうとする強い意欲をもって、保健体育に関する学びを深め、探究しようとする者を望みます。
		ものづくり・技術専修	ものづくりが好きで、科学技術や技術教育に関わる諸問題などに興味関心をもち、科学技術に関する高校までの基礎的な数理的知識をもって受験することを期待します。入学後は、幅広い工学（木工・金工・電気・機械・情報）および農学の知識と技能を身につけて、将来教育現場において、これらの能力を生かそうとする者を望みます。
		家庭専修	生活に関わる諸問題などに興味関心があり、それらを教材として組み立てるために必要な専門的知識に関心をもつとともに、特に、人間の生活とその教育について深く洞察する力、客観的思考力や分析的思考力、合理的にものごとを説明する力などを身につけ、将来教員としてこれらを生かしていくとする強い意志と意欲をもつ者を望みます。
		英語専修	英語科や英語科を核とした関連諸分野とそれらの学習を通した児童生徒の知的成長に興味関心があり、学校現場での教育に携わるために求められる専門的および実践的知識に関心をもつとともに、特に、論理的な思考力、想像力や英語でのコミュニケーション能力などを身につけることに意欲的な者を望みます。
高等学校教育専攻	教科學習開発系	国語・書道専修	国語科や国語科を核とした関連諸分野、および言語やリテラシーなどに興味関心があり、それらを教えるために求められる専門的知識に関心をもつとともに、特に、ものごとを読み解く力、論理的な思考力や創造力などを身につけ、将来教育現場において、それを生かしていくことに意欲的な者を望みます。また、専門分野を学問ととらえ、高等学校教員にふさわしい学びを深めることに強い意欲をもつ者を望みます。
		地歴・公民専修	地歴科や公民科を核とした関連諸分野に深い関心をもち、特に、資料や情報の読解力や分析力、知識と知識を結びつけて新たな知を導き出す力、論理的な思考力や判断力、創造力や探究心を身につけることに意欲的であり、かつ多様な価値観を認めて対話や協働を行うことができ、教員として学校教育に携わる強い意欲をもつ者を望みます。また、専門分野を学問ととらえ、高等学校教員にふさわしい学びを深めることに強い意欲をもつ者を望みます。

		数学専修	数学や数理科学全般、さらには、それらの学習を通した生徒の知的成長に興味関心がある者を望みます。また、それらの教育に必要な専門的知識に関心をもち、高等学校「数学III」の素養を前提として、数量的スキルや数学的な思考力・表現力等の数理リテラシーを身につけることに意欲的な者を望みます。また、専門分野を学問ととらえ、高等学校教員にふさわしい学びを深めることに強い意欲をもつ者を望みます。
		理科専修	理科や理科を核とした関連諸分野に興味関心があり、それらを教材として組み立てるために必要な専門的知識に関心をもつとともに、特に、自然科学に関する客観的思考力や分析的思考力、合理的にものごとを説明する力などを身につけることに意欲的な者を望みます。また、専門分野を学問ととらえ、高等学校教員にふさわしい学びを深めることに強い意欲をもつ者を望みます。
		英語専修	英語科や英語科を核とした関連諸分野とそれらの学習を通した生徒の知的成長に興味関心があり、学校現場での教育に携わるために求められる専門的および実践的知識に関心をもつとともに、特に、論理的な思考力、想像力や英語でのコミュニケーション能力などを身につけることに意欲的な者を望みます。また、専門分野を学問ととらえ、高等学校教員にふさわしい学びを深めることに強い意欲をもつ者を望みます。
特別支援教育専攻		視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱・発達障害など、さまざまな障害のある子どもの教育について幅広い専門性をもち、実践的指導力を身につけた教員をめざす者を望みます。そのために、障害のある子どもの実態を客観的にとらえ、積極的に働きかける力があり、他の教員たちと協働しながら、特別支援教育の諸課題に対して問題意識を高め、みずから考え工夫し解決していく強い意志と意欲をもつ者を望みます。	
養護教育専攻		学校の保健管理や保健教育、子どものからだとこころの健康問題に興味関心があり、それらの教育に携わるために求められる専門的知識に関心をもつ者を望みます。特に、専門科目を学ぶために必要な理数系科目を深く洞察する科学的探究心を育み、分析的思考力やコミュニケーション能力などを身につけることに意欲的な者を望みます。	
教育支援専門職養成課程	心理コース	子どもの心や行動のプロセスを理解し、子どもの健全な発達を支援し、家庭・学校・地域と連携し、子どもの安全な生活を支援する、心理学の基礎知識に加え、心理臨床やカウンセリングの技能を身につけた、公認心理師等の心理の専門職の養成をめざしています。そのために、教育・心理学に興味・関心をもち、スクールカウンセラー等の教育支援者として活躍したいという強い意志と意欲をもつ者を望みます。	
	福祉コース	子どもやその家庭をとりまくさまざまな課題に対する相談援助・生活支援を担う高度な知識・技術を身につけた、スクールソーシャルワーカーをはじめとする福祉の専門職の養成をめざしています。そのために、教育・福祉に興味・関心をもち、学校や地域と連携しながら子どもの健やかな未来を支援する教育支援者、福祉専門職として活躍したいという強い意志と意欲をもつ者を望みます。	
	教育ガバナンスコース	学校をはじめとする教育事務の調整、戦略的企画の立案、管理事務に対応できる資質・能力を備え、学校や教育にかかる業務を専門的見地から支援し、情報活用能力や多文化への理解力を身につけた、学校や教育機関で活躍できる教育事務職員の養成をめざしています。そのために、教育・法律・行政・情報・多文化理解に興味・関心をもち、教育支援者として活躍したいという強い意志と意欲をもつ者を望みます。	

2. 出願資格

本学の一般選抜に出願できる者は、次の各号のいずれかに該当する者で、令和8年度大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目（前期日程16ページ及び後期日程28ページ「大学入学共通テストの受験を要する教科・科目」参照）を受験した者とします。

1. 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和8年3月卒業見込みの者
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（特別支援学校の高等部又は高等専門学校の3年次を修了した者等、通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）
及び令和8年3月修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校又は中等教育学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和8年3月31日までにこれに該当する見込みの者
これらの者は、次のとおりです。
 - ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和8年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和8年3月31日までに修了見込みの者
 - ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和8年3月31日までに修了見込みの者
 - エ 文部科学大臣の指定した者
 - オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格認定に合格した者を含む。）及び令和8年3月31日までに合格見込みの者で、令和8年3月31日までに18歳に達する者
 - カ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和8年3月31日までに18歳に達するもの

〔注〕 上記出願資格3のカにより出願する者は、次のとおり申請してください。

- (1) 申請期間
令和8年1月19日(月)から1月21日(水)17時までに入試課に必着
(ただし、大学入学共通テストを受験し、本学を志望する者に限る。)
- (2) 申請方法
 - (ア) 申請書類
 - (1) 入学資格（受験資格）の審査申請書
 - (2) 教育施設の卒業証明書又は卒業見込み証明書（中途退学者は除く。）
 - (3) 高等学校の在学期間におけるすべての成績証明書（中途退学者のみ。）
 - (4) 実務経験の期間及び内容を証明できる書類
 - (5) 取得済みの免許状・資格等の写（申請時は、本通の提示を求める。）
 - (6) 教育施設の教育課程がわかる書類（学校案内及び履修手引等）
 - (7) 科目等履修生の在学（在籍）証明書及び単位修得証明書
 - (イ) 申請書類提出先
申請者は、(7)申請書類一式を申請期間の締切日までに、返信用封筒（長形3号）に460円分の切手を貼り受信者の郵便番号、住所、氏名を明記したものを同封の上、持参又は郵送にて提出してください。郵便の場合は「簡易書留郵便」にて、下記あて名を明記した封筒の表に「入学資格審査申請書類在中」と朱書きし、提出してください。
なお、提出された書類は、一切返却しません。
(あて名) 〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1 愛知教育大学 入試課
 - (3) 審査の結果
審査の結果について、一般選抜出願時までに通知します。
 - (4) その他
入学資格（受験資格）認定申請書及び申請方法等について不明な点がある場合は、本学入試課（0566-26-2202）に問い合わせてください。

3. インターネット出願登録及び出願受付期間

出願手続きは、①インターネット出願登録→②検定料の支払い→③写真のアップロード→④出願書類の提出（簡易書留速達）により、完了します。

【インターネット出願登録及び入学検定料支払期間】は以下のとおりです（出願受付期間前から出願情報の登録及び検定料の支払いは可能です）。

【インターネット出願登録期間】 令和8年1月19日（月）9時 から 2月3日（火）17時00分まで

【入学検定料支払い期間】 令和8年1月19日（月）9時 から 2月3日（火）23時59分まで

出願情報の登録後に入学検定料17,000円（別途、支払手数料700円）を支払うことになるので、余裕をもった出願を心がけてください。

なお、検定料の支払い後は、登録内容の変更はできませんので、注意してください。

また、大規模な災害により災害救助法適用地域において被災又は避難されている学資負担者又は志願者は、入学検定料が免除になることがありますので、入学検定料を支払う前の出願開始日1週間前までに本学入試情報特設Webサイト「入学検定料の免除について」 (<https://www.aichi-edu.ac.jp/exam/student-life/support.html>) を確認の上、申請してください。

インターネット出願登録は、下記のURLから利用できます。

URL <https://www.aichi-edu.ac.jp/exam/faculty/info/internet.html>

■インターネット出願の操作に関するお問い合わせ

志願受付操作サポート窓口 TEL 0120-752-257

■入学試験に関するお問い合わせ

愛知教育大学入試課学部入試係 TEL 0566-26-2202

【出願期間】は以下のとおりです。

令和8年1月26日（月）から2月4日（水）17時までに入試課に必着

なお、出願書類の提出は郵送（簡易書留速達）に限ります。

出願期間を過ぎた場合には受理しませんので、郵便事情を十分考慮し早めに送付してください。

ただし、2月3日（火）以前の郵便局受付印がある「簡易書留速達」に限り、出願期間後に到着したものでも受理します。

4. 出願方法

本学の前期日程と後期日程の併願を認めます。

なお、本学の前期日程に出願する者は、他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の前期日程に出願することはできません。また、本学の後期日程に出願する者は、他の国公立大学・学部の後期日程に出願することはできません。

本学及び他大学の前期日程に合格し、入学手続を行った者で、後期日程に出願済の者がこれを受験してもその合格者とはなりません。

当初合格者で入学手続を完了した者が募集人員に満たない場合は、追加合格を行うことがあります。また、追加合格を行っても、なお入学手続を完了した者が募集人員に満たない場合は、欠員補充第2次募集を行います。

5. 出願手続

(1). 出願書類等の提出

ア. 出願書類等の提出は郵送に限ります。

出願書類等はインターネット出願登録後にカラー印刷した宛名ラベルを市販の角形2号封筒の表面に貼り付け、一括して封入し、簡易書留速達で郵送してください。

一つの封筒には、試験日程毎に1名分のみ封入し、2名以上を封入しないでください。

また、学校単位で一括郵送もしないでください。

なお、本学の「前期日程」と「後期日程」の両方に出願する場合は、それぞれの出願書類等を宛名ラベルを貼付した市販の角形2号の封筒に別々に封入して郵送してください。

イ. 出願書類等は出願期間内に到着するよう余裕を持って提出してください。

ウ. 提出先 〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1 愛知教育大学 入試課

(2). 出願書類等

下記のア～エの書類を出願期間内に提出してください。

ア. インターネット出願システムから印刷し、提出するもの（必ずA4サイズでカラー印刷）

出　書　類　等	摘　　要
1 出願確認票 (提出用)	<p>出願内容等に間違いがないか確認し、インターネット出願システム登録後に<u>カラ一印刷</u>してください。</p> <p>(注1) 出願前3か月以内に撮影した正面、上半身、無帽、背景なしの顔写真データを用意し、インターネット出願システムからアップロードしてください。</p> <p>(注2) <u>令和8共通テスト成績請求票</u>:大学入試センターが交付したもので、①前期日程は、<u>前期日程・出願確認票の[前]国公立前期日程用貼付欄に</u>、②後期日程は<u>後期日程・出願確認票の[後]国公立後期日程用貼付欄に</u>、それぞれ貼り付けてください。<u>成績請求票を貼り間違えないように注意</u>してください。</p>
2 宛名ラベル 及び 出願書類 チェックリスト	<p>宛名ラベル及び出願書類チェックリストは、インターネット出願登録後に<u>カラー印刷</u>し、出願書類提出用封筒（市販の角形2号封筒）に貼り付けてください。</p> <p>※本学の「<u>前期日程</u>」と「<u>後期日程</u>」を併願する場合は、それぞれの出願書類等を<u>別々の封筒</u>に封入し、郵送してください。</p>

イ. 志願者が各自で準備する書類等

提　出　書　類　等	摘　　要
3 調　　査　　書 (文部科学省所定様式)	<p><u>出身学校が作成し、厳封されたもの。</u></p> <p>なお、指導要録の保存期間を過ぎている卒業生の場合や廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合には、卒業証明書に加えて成績証明書又は単位修得証明書等をもって調査書に代えることができます。</p> <p>これらの証明書等が提出できない場合は、卒業証明書に加えて学校長からの「発行できない旨の文書」を提出してください。</p> <p>ただし、高卒認定で受験する者で高等学校在籍後5年以内の者は、必ず成績証明書を提出してください。</p>
4 入　　学　　検　　定　　料 (17,000 円)	<p><u>支払期間:令和8年1月19日(月)9時～令和8年2月3日(火)23時59分</u> (※支払手数料の700円は本人負担)</p> <p>なお、大規模な災害により災害救助法適用地域において被災又は避難されている学資負担者又は志願者は、入学検定料が免除になることがありますので、<u>入学検定料を支払う前の出願開始日1週間前までに本学入試情報特設Webサイト「入学検定料の免除について」</u> (https://www.aichi-edu.ac.jp/exam/student-life/support.html)を確認の上、申請してください。</p>

ウ. 後期日程志願者（心理コース、福祉コース、教育ガバナンスコース以外の志願者全員）が提出する書類 本学所定の用紙（入試情報特設Webサイトに掲載※）で印刷し、作成する書類（必ずA4サイズで印刷）

※URL：<https://www.aichi-edu.ac.jp/exam/faculty/info/>からダウンロードした本学所定の用紙に志願者本人が記入し、本人が提出。

提　出　書　類　等	摘　　要
5 教職志望理由書	<p>教職を目指す理由について600字以内で自筆で記入してください。</p> <p><u>(注) 生成系AI(ChatGPT等)が生成した文章をそのまま又は一部修正して提出することは不正行為です。志望理由については、皆さん自身の考えで作成してください。</u></p>

**工. 音楽専修希望者、保健体育専修志願者及び調査書を提出できない者が提出する書類
本学所定の用紙（入試情報特設 Web サイトに掲載※）で印刷し、作成する書類（必ず A4 サイズで印刷）**

※URL : <https://www.aichi-edu.ac.jp/exam/faculty/info/>からダウンロードした本学所定の用紙に 6, 8 は志願者本人が、7 は医療機関が記入し、本人が提出。

該 当 者	提 出 書 類	摘 要
6 音楽専修を志願する者	音 楽 実 技 内 容 届 (前期日程 志願者) 音 楽 自 己 PR・演 奏 曲 目 届 (後期日程 志願者)	受験する選択内容を記入し、提出してください。 注) 前期日程 21 ページ及び後期日程 34 ページ音楽実技の*1 を参照のこと。声楽実技は楽譜添付。
7 保健体育専修を志願する者	保 健 体 育 志 須 者 健 康 診 断 書 「負荷心電図の所見」	出願前 3 か月以内に作成したもので、医師が診断・証明したものと提出してください。(注) 前期日程 22 ページ及び後期日程 34 ページ体育実技の*3 を参照のこと。
8 調査書を提出できない者	活 動 報 告 書	中学校以降の生活において、どのような学習や活動を行ってきたかを記入してください。

【インターネットを利用した出願の手順】

①入試制度の確認	本学 Web サイトから「募集要項」をダウンロードし、出願資格・入学者選抜方法・出願期間等を確認する。
②出願情報の登録 (注 1)	インターネットに接続しているパソコン等から、画面の指示に従って登録内容を入力する。
③出願情報の確認	登録した情報を確認する（確認用の用紙を印刷する等）。
④支払い方法の選択	検定料の支払い方法を選択する。 ・クレジットカード ・コンビニエンスストア ・金融機関 ATM (ペイジー) ・ネットバンキング ・PayPay (ペイペイ)
⑤検定料の支払い	選択した方法に従って検定料を支払う。
⑥証明写真のアップロード	⑤検定料の支払い後に送信される入金確認メールに記載される U R L から、インターネット出願登録システムへ再度ログインし、志願者本人の写真をアップロードする。
⑦出願登録内容の印刷	出願確認票等を印刷する。
⑧出願書類の郵送 (注 2)	⑦の出願登録内容の印刷物等を、10 ページ「2. 出願書類等」のとおり愛知教育大学入試課へ郵送し、出願が完了。

(注 1) インターネット出願情報の登録を開始する前に準備しておくデータ等

- ア. 受験者本人の顔写真データ：正面、上半身、無帽のもので出願前 3 か月以内に撮影した写真の画像データを準備してください。
- イ. 電子メールアドレス：電子メールアドレスが必要となります。スマートフォン・携帯電話の電子メールアドレスやフリーメールのアドレスも利用可能です。「成績開示」等で必要になる場合もありますので、令和 8 年度以降も受信できるアドレスで登録してください。
- ウ. プリンター、印刷用紙：A4 サイズの用紙が印刷できるプリンター（カラー印刷）が必要です。
- エ. 試験成績開示請求について、希望しない場合は、「希望する」から「希望しない」に選択を変更してください。

(注 2) インターネットを利用した出願情報の登録だけでは、出願手続は完了しません。出願期間内に、出願確認票等を郵送・提出することで手続は完了します。

(注 3) インターネットを利用した出願情報の登録のパソコン推奨環境及びモバイル端末推奨環境は以下のとおりです。

①パソコン推奨環境

ブラウザバージョン

Windows 環境の場合	Mac 環境の場合
Google Chrome Microsoft Edge	Safari Google Chrome

PDF 閲覧ソフトバージョン

Windows 環境の場合	Mac 環境の場合
Adobe Acrobat Reader DC ※Windows 8.1, Windows 10 の「リーダー」は推奨環境外です。 ※ブラウザ専用 PDF Viewer は推奨環境外です。	Adobe Acrobat Reader DC ※macOS のプレビューは推奨環境外です。 ※ブラウザ専用 PDF Viewer は推奨環境外です。

②モバイル端末推奨環境

※下記は推奨環境ですが、お使いの環境によっては一部機能が動作しないことがあります。

その場合はパソコンをご使用ください。

Android 環境の場合	iOS 環境の場合
Android 10.X.X 以降 Android Chrome	iOS 14.X.X 以降 Safari

(3). 出願にあたっての留意事項

- ア. 他の国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く）の学校推薦型選抜又は総合型選抜の合格者は、本学の一般選抜を受験しても入学の許可は得られません。ただし、当該学校推薦型選抜又は総合型選抜を実施する大学・学部の定める入学辞退手続により入学の辞退を許可された場合を除きます。
- イ. 高等学校卒業程度認定試験合格者は、その成績証明書をもって調査書に代えることができます。
- なお、高等学校卒業程度認定試験において、受験を免除された科目がある場合は、当該免除申請時に提出した証明書類を併せて提出してください。
- また、高等専門学校の3年次を修了した者の場合は、3年次までの単位修得状況（見込みを含む）を証明するものを提出してください。
- ウ. 出願書類に虚偽の記入をした者に対しては、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- エ. 出願書類等のうち、一つでも不備がある場合は願書を受理しないので、郵送する前に、すべての書類等が整っているか必ず確認してください。
- オ. インターネット出願登録時に発行される「セキュリティコード」について、セキュリティ上、問合せにはお答えできません。
- カ. 受験に関する問い合わせ（申し出）は、41ページに記載の問い合わせ先に志願者本人が行ってください。
- キ. 入学検定料の支払い後は、志願内容の変更はできません。

また、払い込まれた検定料は次の場合を除き返還しません。

- ① 出願書類を提出しなかった場合（返還額：振込手数料を差引いた額）
- ② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合（返還額：振込手数料を差引いた額）
- ③ 出願書類等に不備があり、受理されなかった場合（返還額：振込手数料を差引いた額）
- ④ 出願受付後に大学入学共通テスト受験科目の不足等による出願無資格であることが判明した場合（返還額：13,000円）

* 検定料の返還請求方法

志願者の申し出により返還しますので、次の（ア）、（イ）の書類を郵送してください。

（令和8年2月20日（金）まで）

（ア）入学検定料の支払いを証明する書類（領収書等）

（イ）「入学検定料返還請求書」（便せん等に次の1～7を明記してください。）

- 1 返還請求の理由
- 2 試験区分（前期日程、後期日程）
- 3 氏名（フリガナ）
- 4 現住所
- 5 連絡先電話番号

6	返還請求額
7	返還金振込先
	1)金融機関名（可能な限り郵便局・ゆうちょ銀行以外の金融機関）
	2)支店名
	3)預金種別（当座・普通）
	4)口座番号
	5)口座名義人（フリガナ）
	6)口座名義人が志願者と異なる場合は、志願者との続柄
郵送先	〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1 愛知教育大学入試課 TEL0566-26-2202
返還時期は、	令和8年4月以降（請求時期により異なります。）を予定しております。

6. 障害等のある入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする志願者もしくは不安を感じる志願者は、相談締切日までに必ず本学と相談してください。

必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談を行います。

相談内容によっては、対応に時間を要することもありますので出願前の早い時期に申し出てください。

なお、この事前相談により、合否判定の際に不利にはなりません。

1)相談締切日 令和7年12月5日（金）

2)相談申込み方法

「入学試験受験上の配慮申請書」により申込みしてください。

（本学指定様式によるものとします。様式については、下記問い合わせ先に連絡の上、請求してください。）

3)提出書類

(1)入学試験受験上の配慮申請書（本学指定様式）

(2)医師の診断書（コピー可）

(3)大学入学共通テストにおける「受験上の配慮事項決定通知書」（写）

※該当者のみ

4)問い合わせ先

愛知教育大学入試課 TEL（0566）26-2202

7. 受験票及び受験案内のダウンロード、印刷

前期日程の受験票及び受験案内は、令和8年2月18日（水）頃からダウンロード及び印刷が可能となります。インターネット出願登録サイトの申込確認から受験票をダウンロード及びカラー印刷し、試験当日に持参してください。

なお、個別学力検査当日に「愛知教育大学受験票」及び「大学入学共通テスト受験票」の二つを必ず持参してください。

また、受験上の注意事項（集合時間や場所等）に関する「受験案内」を受験票に記載のURLから必ず確認してください。

なお、後期日程の受験票及び受験案内については、令和8年3月5日（木）以降にダウンロード及び印刷して内容を確認してください。

8. 免許教科の決定について

・免許教科について

義務教育専攻学校教育科学専修、生活・総合専修、ICT 活用支援専修、日本語支援専修及び特別支援教育専攻においては、1科目の中学校教員免許状（二種もしくは一種）を取得することができます。この教科を「免許教科」と呼び、入学前に希望教科を選択していただく必要があります。

なお、免許教科は、入学手続時に「意向調査」に基づき、大学が決定します。できる限り希望に添うように各教科への割り振りを行いますが、特定の教科に希望が集中することなどにより、必ずしも第1希望の教科を履修できない場合も考えられることをご承知おきください。

また、免許教科の決定後は、いかなる理由があっても、変更は一切認められません。

決定した免許教科の専門教育科目の授業では、当該教科について知識や能力の高い専攻学生とともに学ぶことになることから、入学手続時の意向調査の際には、各免許教科に関する学修に当たっての要望やアドバイスを提示しますので、慎重に免許教科を選択することを求めます。

以下の本学ホームページにおいて、「免許教科選択に当たっての留意点」を掲載していますので、併せて確認してください。

愛知教育大学ホームページ HOME > 学部・大学院 > 免許教科
https://www.aichi-edu.ac.jp/edu/gakubu/license_subject.html

https://www.aichi-edu.ac.jp/edu/gakubu/license_subject.html



免許教科 専攻・専修		国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術	家庭	英語
義務教育 専攻	学校教育科学専修	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○
	生活・総合専修	○	○※	○	○※	○	○	○	○※	○※	○
	ICT 活用支援専修	○	○	○※	○※	○	○	○	○※	○	○
	日本語支援専修	○									○
特別支援教育専攻		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※専修として選択を薦める教科

9. 教育・学習データ利活用について

本学では、「国立大学法人愛知教育大学教育・学習データ利活用ポリシー」を定め、日々の教育や学習に関するデータを取得し、そのデータを安全な方法で保持・分析を行い、客観的データに基づいて教育改善や学生等の学習支援を図るとともに、データ利活用から得られた成果を公開し、広く社会に還元することに取り組んでいます。

入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入学後、教育・学習データとして取り扱います。

【参考】「愛知教育大学教育・学習データ利活用ポリシー」

<https://kitei.aichi-edu.ac.jp/doc/auekitei/print/708.html>

10. 個人情報の取り扱いについて

- ① 本学が保有する個人情報は、「個人情報の保護に関する法律（平成 15 年法律第 57 号）」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人愛知教育大学個人情報保護規程」等本学の関係規定に基づき厳密に取り扱い、個人情報保護に万全を期しています。
- ② 本学では、出願時に提出された個人情報（住所・氏名・生年月日等）及び入学試験成績情報は、入学者選抜に関する業務、入学後の奨学制度申請、修学支援業務及びこれらに付随する業務並びに「愛知教育大学教育・学習データ利活用ポリシー」に基づくデータに利用します
- ③ 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入学共通テストの受験番号に限って独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に合否及び入学手続等に関する情報を提供します。

【参考】「国立大学法人愛知教育大学個人情報保護規程」

<https://kitei.aichi-edu.ac.jp/doc/auekitei/print/82.html>

11. 入学試験個人成績の開示

本学では、一般選抜の個人成績（総点）を本人に限って開示します。出願時に成績開示を希望した者は、本学入試情報特設 Web サイトの「成績開示システム」から令和 8 年度入試の個人成績が閲覧できます。閲覧には「受験番号」及びインターネット出願登録時に発行される「セキュリティコード」が必要です。開示時期まで、忘れずに控えておいてください。また、入試課にて入学試験個人成績の開示は行っておりません。

（1）請求方法

- ① インターネット出願登録サイトで出願登録をする際に、試験成績開示請求項目の「希望する」を必ず選択してください。開示を希望しない場合は「希望しない」に選択を変更してください。
- ② 「希望する」を選択した場合、1回の出願につき開示請求手数料 600 円が別途必要です。検定料と併せてお支払いください。なお、郵送及び出願後の請求は原則受け付けません。

（2）開示の時期

令和 8 年 5 月 1 日から 6 月 30 日まで、本学入試情報特設 Web サイトの「成績開示システム」から、閲覧が可能となります。

※開示期間が終了すると閲覧できなくなりますので、必要であれば、適宜成績開示画面を印刷してください。

12. その他

・安全保障輸出管理について

本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「愛知教育大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受入れに際し、厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

【参考】「愛知教育大学安全保障輸出管理規程」

愛知教育大学規程集 <https://kitei.aichi-edu.ac.jp/doc/auekitei/index.html> より

第 10 章 研究連携・研究支援>国立大学法人愛知教育大学安全保障輸出管理規程

経済産業省「安全保障貿易管理」 <https://www.meti.go.jp/policy/anpo/gaiyou.html>

・「入試過去問題活用宣言」への参加について

本学では、「入試過去問題活用宣言」に参加しており、アドミッション・ポリシーを実現するため必要と認める範囲で「宣言参加大学」の入試過去問題あるいは類似問題を使用して出題することができます。ただし、必ず使用するとは限りません。

詳細は、「<http://www.nyushikakomon.jp>」にて公表しています。不明な点等がありましたら、本学入試課へお問い合わせください。

13. 前期日程

(1). 入学者選抜方法

- 1) 入学者の選抜は、令和8年度大学入学共通テスト、本学の行う個別学力検査等及び出身高等学校もしくは中等教育学校の調査書を総合して行います。なお、2段階選抜は実施しません。
- 2) 1) の配点は10. 配点(24ページ)のとおりとし、その合計を総点とします。
- 3) 個別学力検査等は、調査書を除く各科目等の30%を最低基準点とし、これに満たない場合は不合格とします。
なお、総点及び大学入学共通テストの最低基準点は特に定めません。
- 4) 3) で不合格となった者を除き、各専攻、専修及びコース毎に第1志望の総点の高得点順位の者から合格者とします。ただし、複数の志望を認める専攻、専修にあっては、選択した志望(第1志望、第2志望、第3志望)にかかわらず、同一の選抜基準で合格者を決定します。

(2). 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

本学に出席できる者は、令和8年度大学入学共通テストの教科・科目のうち、次の教科・科目を受験した者に限ります。なお、志願する専攻、専修及びコースによって受験を要する教科・科目が異なるので十分注意してください。

課程・専攻・専修・コース	教科・科目名	
学校教員養成課程 義務教育専攻 日本語支援専修 国語専修 社会専修 英語専修 高等学校教育専攻 国語・書道専修 地歴・公民専修 英語専修	国語 地歴 公民 理科 数学 外国語 情報	国 「地総、地探」「歴総、日探」「歴総、世探」 「地総／歴総／公」「公、倫」「公、政・経」から2 [18ページ<理科の選択方法について>参照]から1 「数Ⅰ、数A」 「数Ⅱ、数B、数C」 英、独、仏、中、韓 情報Ⅰ 〔6教科8科目〕
学校教員養成課程 義務教育専攻 ICT活用支援専修 算数・数学専修 理科専修 ものづくり・技術専修 高等学校教育専攻 数学専修 理科専修	国語 地歴 公民 理科 数学 外国語 情報	国 「地総、地探」「歴総、日探」「歴総、世探」 「地総／歴総／公」「公、倫」「公、政・経」から1 [18ページ<理科の選択方法について>参照]から2 「数Ⅰ、数A」 「数Ⅱ、数B、数C」 英、独、仏、中、韓 情報Ⅰ 〔6教科8科目〕
学校教員養成課程 義務教育専攻 音楽専修 図画工作・美術専修 保健体育専修	国語 地歴 公民 理科 数学 外国語 情報	国 「地総、地探」「歴総、日探」「歴総、世探」 「地総／歴総／公」「公、倫」「公、政・経」から1 [18ページ<理科の選択方法について>参照]から1 「数Ⅰ、数A」 「数Ⅱ、数B、数C」 英、独、仏、中、韓 情報Ⅰ 〔6教科7科目〕
学校教員養成課程 幼児教育専攻 義務教育専攻 学校教育科学専修 生活・総合専修 家庭専修 特別支援教育専攻 養護教育専攻 教育支援専門職養成課程 心理コース 福祉コース 教育ガバナンスコース	国語 地歴 公民 理科 数学 外国語 情報	国 「地総、地探」「歴総、日探」「歴総、世探」2教科 「地総／歴総／公」「公、倫」「公、政・経」から3科目 [18ページ<理科の選択方法について>参照] 「数Ⅰ、数A」 「数Ⅱ、数B、数C」 英、独、仏、中、韓 情報Ⅰ 〔6教科8科目〕

<大学入学共通テストの利用教科・科目について>

- 1) 教科・科目名は次のように略しています。

国語→「国」， 地理歴史→「地歴」

「地理総合， 地理探究」→「地総， 地探」， 「歴史総合， 日本史探究」→「歴総， 日探」， 「歴史総合， 世界史探究」→「歴総， 世探」， 「地理総合／歴史総合／公共」→「地総／歴総／公」， 「公共， 倫理」→「公， 倫」， 「公共， 政治・経済」→「公， 政・経」

英語→「英」， ドイツ語→「独」， フランス語→「仏」， 中国語→「中」， 韓国語→「韓」

「数学Ⅰ」， 「数学A」→「数Ⅰ」， 「数A」， 「数学Ⅱ」， 「数学B」， 「数学C」→「数Ⅱ」， 「数B」， 「数C」

- 2) 地理歴史（以下「地歴」という。）及び公民については、合わせて1教科とします。地歴及び公民において、2科目受験する場合、選択できない組み合わせがあります（18ページ参照）。

「地理総合／歴史総合／公共」科目については、2出題範囲を選択解答します。

理科については、基礎を付していない科目は1つで1科目としますが、基礎を付した科目は4つの出題範囲から2つを選択して1科目とします。

- 3) 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」科目については、2出題範囲を選択解答します。

- 4) 指定した教科・科目数を超えて受験した場合の取り扱いについては、以下のとおりとします。

なお、「地歴・公民」及び「理科」を2科目受験する場合、前半に解答した科目を「第1解答科目」、後半に解答した科目を「第2解答科目」とします。

①「地歴・公民」から1科目選択となっている場合は、「地歴・公民」の「第1解答科目」の成績を用います。

②「理科」から1科目選択となっている場合は、「理科」の「第1解答科目」の成績を用います。

③「地歴・公民」，「理科」から2教科3科目選択となっている場合は、それぞれ「第1解答科目」と、いずれか高得点の「第2解答科目」の成績を用います。

- 5) 外国語の「英語」にはリスニングを含みます（リスニング免除者は除く）。

- 6) 大学入学共通テストの外国語の科目英語を利用する場合のリーディングとリスニングの配分比率については、リーディング（160点満点），リスニング（40点満点）に換算して200点満点とします。

なお、障害等により共通テストの英語におけるリスニングを免除された志願者の試験結果については、リーディングの成績を200点満点に換算します。

- 7) 情報については、100点満点のものを50点満点に換算します。

<地歴・公民の選択方法について>

教科	科目		地理歴史/公民の科目の選択方法
地理歴史/公民	(a)	「地理総合／歴史総合／公共」	左記科目の6科目のうちから最大2科目を選択し、解答します。 (a) : 必履修科目を組み合わせた出題科目 (b) : 必履修科目と選択科目を組み合わせた出題科目
	(b)	「地理総合、地理探究」「歴史総合、日本史探究」「歴史総合、世界史探究」「公共、倫理」「公共、政治・経済」	<ul style="list-style-type: none"> (a) の「地理総合／歴史総合／公共」は、「地理総合」、「歴史総合」、及び「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答する。 2科目を選択する場合、以下の組合せを選択することはできません。 <ul style="list-style-type: none"> <u>(b) のうち2科目を選択する場合</u> 「公共、倫理」と「公共、政治・経済」の組合せを選択することができません。 <u>(b) のうちから1教科及び(a)を選択する場合</u> (b) については、(a)で選択解答したものと同一名称を含む科目を選択することはできません。 (注1)

(注1) 地理歴史及び公民で2科目を選択する受験者が、(b)のうちから1科目及び(a)を選択する場合において選択可能な組合せは以下のとおりとなります。

		(a)		
		「地理総合」「歴史総合」	「地理総合」「公共」	「歴史総合」「公共」
(b)	「地理総合、地理探究」	×	×	○
	「歴史総合、日本史探究」	×	○	×
	「歴史総合、世界史探究」	×	○	×
	「公共、倫理」	○	×	×
	「公共、政治・経済」	○	×	×

○：選択可能 ×：選択不可

<理科の選択方法について>

教科		課程	専攻、専修、コース	理科の科目の選択方法
理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」	学校教員養成課程	ICT活用支援専修 算数・数学専修（義務教育）、数学専修（高等学校教育） 理科専修（義務教育）、理科専修（高等学校教育） ものづくり・技術専修	理科の科目欄の5つから基礎を付していない4つのうち2つを選択する。
			日本語支援専修 国語専修（義務教育）、国語・書道専修（高等学校教育） 社会専修（義務教育）、地歴・公民専修（高等学校教育） 音楽専修 図画工作・美術専修 保健体育専修 英語専修（義務教育）、英語専修（高等学校教育）	理科の科目欄の5つから1つを選択する。
			幼児教育専攻 学校教育科学専修 生活・総合専修 家庭専修 特別支援教育専攻 養護教育専攻	<ul style="list-style-type: none"> 「地歴・公民」1科目選択の場合は、理科の科目欄の5つから基礎を付していない4つのうち2つを選択する。
			教育支援専門職養成課程 心理コース 福祉コース 教育ガバナンスコース	<ul style="list-style-type: none"> 「地歴・公民」2科目選択の場合は、理科の科目欄の5つから1つを選択する。
	「物理学」			
	「化学」			
	「生物学」			
	「地学」			

※1 共通テスト利用教科・科目のうち「地歴・公民」、「理科」の2教科からの選択利用となっている専攻、専修、コースは、「地歴・公民」から1科目選択の場合と「地歴・公民」から2科目選択の場合の選択方法に区分した。

※2 理科については、基礎を付していない科目は1つで1科目としますが、基礎を付した科目は4つの出題範囲から2つを選択して1科目とします。

※3 指定した教科・科目数を超えて受験した場合の取り扱いについては、以下のとおりとします。

なお、「地歴・公民」及び「理科」を2科目受験する場合、前半に解答した科目を「第1解答科目」、後半に解答した科目を「第2解答科目」とします。

○「地歴・公民」から1科目選択となっている場合は、「地歴・公民」の「第1解答科目」の成績を用います。

○「理科」から1科目選択となっている場合は、「理科」の「第1解答科目」の成績を用います。

○「地歴・公民」、「理科」から2教科3科目選択となっている場合は、それぞれ「第1解答科目」と、いずれか高得点の「第2解答科目」の成績を用います。

(3). 試験期日・試験場所

試験当日は、令和8年度大学入学共通テスト受験票及び本学の行う一般選抜（前期日程）の受験票の両方を必ず持参してください。

選 抜 日 程	試 験 期 日	試 験 場 所
前 期 日 程	令和8年2月25日(水)・26日(木)	愛知教育大学

(4). 試験時間割

課程・専攻 ・専修・コース	日時等	2月25日(水)				2月26日(木)	
		1	限	2	限		
		教科・科目	時 間	教科・科目	時 間	教科・科目	時 間
学校教員養成課程	幼児教育専攻	小論文	9:30 ~ 11:00	実技	12:30 ~ 17:00		
	学校教育科学専修	小論文	9:30 ~ 11:00	総合問題	12:30 ~ 14:30		
	生活・総合専修	小論文	9:30 ~ 11:00	総合問題	12:30 ~ 14:00		
	ICT活用支援専修	小論文	9:30 ~ 11:00	数学	12:30 ~ 14:30		
	日本語支援専修	小論文	9:30 ~ 11:00	総合問題	12:30 ~ 14:30		
	義務教育専攻系	国語専修	9:30 ~ 11:00	国語	12:30 ~ 14:30		
		社会専修	9:30 ~ 11:00	地歴公民	12:30 ~ 14:00		
		算数・数学専修	9:30 ~ 11:00	数学	12:30 ~ 14:30		
		理科専修	9:30 ~ 11:00	理科	12:30 ~ 14:30		
		音楽専修	9:30 ~ 11:00	実技	12:30 ~ 17:00	実技	10:00 ~ 17:00
		図画工作・美術専修	小論文	9:30 ~ 11:00	実技	12:30 ~ 14:30	
		保健体育専修	小論文	9:30 ~ 11:00	実技	12:30 ~ 17:00	実技 9:00 ~ 15:00
		ものづくり・技術専修	小論文	9:30 ~ 11:00	総合問題	12:30 ~ 14:30	
		家庭専修	小論文	9:30 ~ 11:00	総合問題	12:30 ~ 14:30	
		英語専修	小論文	9:30 ~ 11:00	外国語	12:30 ~ 14:30	
	高等学校教育専攻系	国語・書道専修	小論文	9:30 ~ 11:00	国語	12:30 ~ 14:30	
		地歴・公民専修	小論文	9:30 ~ 11:00	地歴	12:30 ~ 14:00	
		数学専修	小論文	9:30 ~ 11:00	数学	12:30 ~ 14:30	
		理科専修	小論文	9:30 ~ 11:00	理科	12:30 ~ 14:30	
		英語専修	小論文	9:30 ~ 11:00	外国語	12:30 ~ 14:30	
	特別支援教育専攻	小論文	9:30 ~ 11:00			面接	9:30 ~ 17:00
	養護教育専攻	小論文	9:30 ~ 11:00	総合問題	12:30 ~ 14:30		
養成課程 教育支援専門職	心理コース	総合問題	9:30 ~ 11:00				
	福祉コース	総合問題	9:30 ~ 11:00				
	教育ガバナンスコース	総合問題	9:30 ~ 11:00				

(5). 試験実施教科・科目

日 程	出題教科・科目等 学部・課程・専攻・専修・コース 教科数	国 語				地 史 公 民		數 学				理 科		外 国 語				実 技 題 問 接 計	総 合 間 文 接 計	小 論 面 合							
		現代の国語	言語文化	論理国語	文学国語	古典探求	地理総合、地理探求	歴史総合、日本史探求	公共、倫理・政治・経済	数学I	数学II	数学III	数学A	数学B	数学C	物理基礎、物理	化学基礎、化学	生物基礎、生物	地学基礎、地学	英語コミュニケーションI	英語コミュニケーションII	英語コミュニケーションIII	論理・表現I	論理・表現II	論理・表現III		

(6). 実技検査

※下記の内容以外は発表しません。

専攻・専修	内 容
幼児教育専攻	<p>以下の試験により、表現力、発想力、創作力などを総合的にみます。 次のa～cを全て受験してください。</p> <p>a 造形表現：与えられた用具（道具や材料）を用いて平面作品を制作してください。 【備考】 色鉛筆・折り紙・使用する用具はすべて本学で用意します。 持参する用具はなく、本学で配布する用具以外のものは使用できません。</p> <p>b 身体表現：与えられたテーマをもとに、一分間程度、動きで表現してください。 【備考】 動きやすい服装を準備してください。</p> <p>c 歌唱表現：次の曲から一曲を選択し、歌ってください。 【備考】 無伴奏。楽譜を見ても良い。一番のみ。 なお、身振り等は不要です。</p> <p>1. 「一円玉の旅がらす」 荒木とよひさ／作詞 弦哲也／作曲 2. 「にんげんっていいな」 山口あかり／作詞 小林亜星／作曲 3. 「いつも何度でも」 覚和歌子／作詞・作曲</p>
音 楽 専 修	<p>音楽の基本的な能力（技術および表現力）を総合的にみます。 次のA.B のいずれかを一つ選択し、I(主).II(副)ともに受験してください。</p> <p>A. ピアノを主とする者</p> <p>I. ピアノ実技…任意の作曲家の作品の中から一曲または一つの楽章を演奏してください。（繰り返しは無し） II. 声楽実技…次の二曲の中から当日指定された曲を歌ってください。</p> <p>1. Vergin, tutto amor (DURANTE,F.) 2. Gia il sole dal Gange (SCARLATTI,A.)</p> <p>B. 声楽を主とする者</p> <p>I. 声楽実技…次の作曲家の作品より自由に選曲して一曲歌ってください。</p> <p>1.Bellini (ベッリーニ) 2.Donaudy (ドナウディ) 3.Tosti (トスティ)</p> <p>II. ピアノ実技…任意の作曲家の作品の中から一曲または一つの楽章を演奏してください。（繰り返しは無し）</p> <p>【備考】</p> <p>1. I (主), II (副) いずれも暗譜演奏とします。 2. 声楽においては、原語で歌ってください。また A. II もしくは B. I において声楽実技を受験する者は願書提出時に各自演奏する曲の楽譜（伴奏付き）を提出してください。</p>
図画工作・美術専修	<p>美術の実技に関する以下の設問について、観察力、基礎的な描写力を総合的にみます。</p> <p>鉛筆デッサン</p> <p>「与えられたモチーフを持つ手」を、ケント紙に描いてください。 ※鉛筆（2B）、消しゴム等、使用する用具はすべて本学で用意します。 ※持参する用具はなく、本学で配付する用具以外のものは使用できません。</p>

専攻・専修	内 容										
保健体育専修	<p>体育の実技は、選択種目について、基礎的運動能力、表現力などをみます。</p> <p>次のA、B群から1種目ずつ選択してください。</p> <p>なお、選択した種目のうち、得意とする種目を主選択種目、もう一方を副選択種目としてください。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="2">A 群</td> <td>①バスケットボール</td> <td>②バレー ボール</td> </tr> <tr> <td>③ハンドボール</td> <td>④サッカー</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">B 群</td> <td>①陸上競技 注1)</td> <td>②器械運動 注2)</td> </tr> <tr> <td>③水泳（競泳）注3)</td> <td>④ダンス（創作ダンス）</td> </tr> </table> <p>注1) 陸上競技は、以下の種目から1種目を選択してください。 男子：100m, 400m, 1500m, 走幅跳, 走高跳, 砲丸投 女子：100m, 400m, 1500m, 走幅跳, 走高跳, 砲丸投 なお、雨天の場合は、体育館で実施するため、以下の通り種目を変更します。 • 100m, 400m → 30m • 1500m → 20m シャトルラン • 走幅跳 → 走幅跳（助走距離に制限あり） • 走高跳 → 走高跳（助走距離に制限あり） • 砲丸投 → 砲丸投（ソフトメディシンボールを使用） ※全て、室内用の運動靴で実施する。</p> <p>注2) 器械運動は、男女共、マットと鉄棒を行います。</p> <p>注3) 水泳は50mスピード泳と泳法を行います。</p> <p>「備考」 1. 健康診断書の提出 … 本学所定の「保健体育志願者健康診断書」（本学Webサイトからダウンロード）により<u>負荷心電図</u>の所見を提出してください。なお、志願者は各自で、所見の有無を確認してください。もし、異常所見がある場合は、さらに精密検査を受け、その検査結果を併せて提出してください。 その内容によっては実技検査の一部を受験させないことがあります。</p> <p>2. 持参する用具 …… 選択した種目に必要な服装・用具(シューズ・スパイク類等)を各自持参してください。（なお、陸上競技でスパイクを使用する場合は、全天候走路用のピンとしてください。また、フィールド種目に必要な用具は持参する必要はありません。） 雨天の場合は体育館用シューズを用意してください。 ※万一の事故に備え、保険証等を持参してください。</p>	A 群	①バスケットボール	②バレー ボール	③ハンドボール	④サッカー	B 群	①陸上競技 注1)	②器械運動 注2)	③水泳（競泳）注3)	④ダンス（創作ダンス）
A 群	①バスケットボール		②バレー ボール								
	③ハンドボール	④サッカー									
B 群	①陸上競技 注1)	②器械運動 注2)									
	③水泳（競泳）注3)	④ダンス（創作ダンス）									

(7). 総合問題（前期日程）

専攻・専修・コース	内 容
学校教育科学専修	論述を基本とし、論理的思考力や表現力、分析力などを総合的にみます。
生活・総合専修	論述を基本とし、論理的思考力や表現力、分析力などを総合的にみます。
日本語支援専修	日本語及び英語で書かれた文章を出題し、内容把握力、思考力、表現力などを総合的にみます。
ものづくり・技術専修	技術に関する課題について、論述を基本とし、理解力、分析力、表現力などを総合的にみます。
家庭専修	生活に関する課題について、論述を基本とし、理解力、分析力、表現力などを総合的にみます。
養護教育専攻	健康に関する領域について、論述を基本とし、理解力、判断力、分析力、創造力、表現力などを総合的にみます。
心理コース	論述を基本とし、理解力、分析力、表現力などを総合的にみます。
福祉コース	論述を基本とし、理解力、分析力、表現力などを総合的にみます。
教育ガバナンスコース	論述を基本とし、理解力、分析力、表現力などを総合的にみます。

(8). 面 接（口述試験を含む）

専 攻	内 容
特別支援教育専攻	複数の教員による集団面接により、障害のある子どもたちの教育に対する意欲・関心をみるとともに、教職への意欲・適性などを総合的に判断します。

※受験者数によっては、面接方法を変更することがあります。

(9). 小論文

課 程	内 容
学校教員養成課程 共通	教育への関心・問題意識及び教職への意欲を総合的に判断します。

(10). 配点

前期日程の大学入学共通テストと個別学力検査等の配点は次のとおりです。

区分・科目等		大学入学共通テスト							個別学力検査等										
		国語	地理歴史・公民	理科	数学	外国語 (注3)	情報 (注4)	計	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国语	総合問題	小論文	実技	面接	調査書	計
学校教員養成課程	幼児教育専攻	200	*300 (注2)	200	200	50	950								100	400		10	510
	学校教育科学専修	200	*300 (注2)	200	200	50	950								400	100		10	510
	生活・総合専修	200	*300 (注2)	200	200	50	950								400	100		10	510
	ICT活用支援専修	200	100	200	200	50	950				400				100			10	510
	日本語支援専修	200	200	100	200	200	50	950							400	100		10	510
	義務教育専攻	国語専修	200	200	100	200	200	50	950	400					100			10	510
	教科指導系	社会専修	200	200	100	200	200	50	950		400				100			10	510
	算数・数学専修	200	100	200	200	200	50	950			400				100			10	510
	理科専修	200	100	200	200	200	50	950				400			100			10	510
	音楽専修	200	100	100	200	200	50	950 (注5)							100	400		10	510
	図画工作・美術専修	200	100	100	200	200	50	950 (注5)							100	400		10	510
高等学校教育専攻	保健体育専修	200	100	100	200	200	50	950 (注5)							100	400		10	510
	ものづくり・技術専修	200	100	200	200	200	50	950							400	100		10	510
	家庭専修	200	*300 (注2)	200	200	50	950								400	100		10	510
	英語専修	200	200	100	200	200	50	950							400	100		10	510
	教科習開発系	国語・書道専修	200	200	100	200	200	50	950	400					100			10	510
教養成支援課程専門職	地歴・公民専修	200	200	100	200	200	50	950		400					100			10	510
	数学専修	200	100	200	200	200	50	950			400				100			10	510
	理科専修	200	100	200	200	200	50	950				400			100			10	510
	英語専修	200	200	100	200	200	50	950							400	100		10	510
	特別支援教育専攻	200	*300 (注2)	200	200	50	950								100		400	10	510
教育成支援課程専門職	養護教育専攻	200	*300 (注2)	200	200	50	950								400	100		10	510
	心理コース	200	*300 (注2)	200	200	50	950								300			10	310
	福祉コース	200	*300 (注2)	200	200	50	950								300			10	310
教育ガバナンスコース		200	*300 (注2)	200	200	50	950								300			10	310

注1) 配点に*が付してある教科は選択教科を表します。

注2) 大学入学共通テストの地理歴史・公民及び理科から2教科3科目の成績（各科目100点）を用います。

注3) 大学入学共通テストの外国語科目から英語を利用する場合のリーディングとリスニングの配分比率については、リーディング（160点満点）・リスニング（40点満点）に換算して200点満点とします。

注4) 大学入学共通テストの情報については、100点満点のものを50点満点に換算します。

注5) 大学入学共通テストの配点を掛率により950点に調整します。

(11). 志望の方法等

専攻・専修について併願できる範囲は、次のとおりです。

専攻・専修	併願先（第2志望～第3志望）	
義務教育専攻	高等学校教育専攻	義務教育専攻
国語専修	国語・書道専修	
社会専修	地歴・公民専修	
算数・数学専修	数学専修	ICT活用支援専修
理科専修	理科専修	
英語専修	英語専修	
ICT活用支援専修	数学専修	算数・数学専修
高等学校教育専攻	義務教育専攻	
国語・書道専修	国語専修	
地歴・公民専修	社会専修	
数学専修	算数・数学専修	ICT活用支援専修
理科専修	理科専修	
英語専修	英語専修	

(注) 上記以外の専攻・専修・コースについては、他の専攻・専修・コースを併願することはできません。

(12). 合格者発表

1) 日時・場所・方法

日 時： 令和8年3月6日（金） 13:00 以降

方 法： 合格者の受験番号を専攻・専修・コース別に本学入試情報特設Webサイトに掲載します。

(本学入試情報特設Webサイト：<https://www.aichi-edu.ac.jp/exam/>)

なお、併願先（第2～3志望）で合格した場合は、その専攻・専修に掲示されるので注意してください。

注) 電話その他のによる問い合わせには一切応じません。

2) 合格通知書の交付

合格者には「合格通知書」及び「入学手続関係書類」を3月6日（金）に速達で発送します。合格者で、
3月10日（火）12時までに関係書類が到着しない場合は、下記の日時に必ず電話で問い合わせてください。

不着問い合わせ受付日時	問い合わせ先電話番号
令和8年3月10日（火）13:00～17:00	愛知教育大学 入試課 0566-26-2202

3) 追加合格者の通知

入学手続完了者が募集人員に満たない場合には、合格者の追加を行うことがあります。この追加合格者の決定通知は次のとおりです。

(1) 期日： 令和8年3月28日（土）以降

(2) 方法： 本人（出願確認票に記載されている電話番号）へ直接連絡します。

直接本人へ入学意志の確認を行う必要があります。連絡が直ちにとれるようにしておいてください。

⑬. 入学手続

入学手続は下記の日時・場所で行います。入学手続の詳細は合格通知書と併せて郵送する「入学手続要項」をご覧ください。

1) 日時・場所

日 時	場 所
令和8年3月13日（金）	9:00～12:00
令和8年3月14日（土）	13:00～16:00

やむを得ず上記の日時に入学手続ができない場合は、必ず事前に**本学学生支援課〔0566-26-2173〕へ連絡**した上で令和8年3月15日（日）に本学学生サポートセンター内の学生支援課までお越しください。（受付は9:00～12:00）

○入学手続時に持参するもの

- ①大学入学共通テスト受験票 *1
- ②入学手続関係書類 *2
- ③最終出身学校卒業証明書
- ④本籍地が記載された証明書類（住民票の写し、住民票記載事項証明書等*3）
【学校教員養成課程合格者のみ提出】

*1 手続き時に本学の入学手続完了済印を押印します。

*2 合格通知書と併せて郵送します。

*3 マイナンバーの記載不要、入学者本人の事項のみ記載されたもの

○入学手続に関するお問い合わせ先

（全般）

学生支援課 TEL 0566-26-2173

（入学料等納入金関係）

財務課 TEL 0566-26-2147

（入学料・授業料免除関係）

学生支援課 TEL 0566-26-2184

※合格発表から入学手続までの期間が短いので、入学手続に必要な書類の準備に留意してください。

※在住地が遠方等の理由により、持参による入学手続を行うことが困難な場合は、郵送による入学手続を行うことができます。

なお、郵送による場合は「書留速達」とし、郵送期間を十分考慮して、3月14日（土）16時までに愛知教育大学学生支援課へ必着となるよう送付してください。

2) 入学料等納入金

入 学 料	282,000 円
入学時諸費用（※ ₁ ）	54,660 円

（参考）前期分授業料 267,900 円
後期分授業料 267,900 円

入学料及び入学時諸費用については、入学手続時までに必ず納入していただきます。また、授業料の納入については、4月以降に行っていただきますので、その納入方法は**合格者の方に郵送する「入学手続要項」**においてお知らせします。（入学時及び在学中に納入金の改定が行われた場合には、改定時から新入学料、新入学時諸費用及び新授業料を適用します。）

※₁ 入学時諸費用は、通学中や教育実習などの活動中の事故等に係る保険料（4年間分）、教育研究経費、大学行事、就職、課外活動及び福利厚生への支援など様々な学生支援事業のための費用で、入学時ののみの費用です。

○納入方法

入学料及び入学時諸費用については、合格者の方に郵送する「入学手続関係書類」に同封の払込書（大学指定のもの）にて、入学手続時までに最寄りのゆうちょ銀行又は郵便局の窓口(*4)にて納入してください。

*4 ATMは使用しないでください。

3) 留意事項

- (1) 所定の入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものとして取り扱います。
- (2) 一つの国公立大学（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く）に入学手続を行った者は、これを取り消して他の国公立大学に入学手続を行うことはできません。
- (3) 追加合格者の入学手続については別途通知します。（追加合格の場合にも大学入学共通テスト受験票がなければ入学手続はできないので、少なくとも4月初旬までは紛失しないよう留意してください。）
- (4) 入学手続き完了後、入学を辞退する場合は、令和8年3月31日（火）15時までに入試課（0566-26-2202）へ連絡のうえ、入学辞退届（様式は任意）を提出してください。
- (5) 本学では、入学までにすべての学部学生に教材用パソコンを用意していただくことになっていますのでご承知おきください。教材用パソコンの詳細については入学手続きの案内時にお知らせします。
（本学生協で教材用パソコンに適したものを販売していますが、仕様を満たすものであれば、他の市販のパソコンや既存のパソコンをお持ちいただくことも出来ます。）
- (6) 入学手続き完了後に本学への入学を辞退する場合、納入済の入学料はいかなる理由があっても返還いたしません。
- (7) 入学料免除又は徴収猶予申請者が入学手続完了（免除等申請）後に入学を辞退した場合は「免除等申請を辞退」したものとなりますので、直ちに入学料を納入していただきます。
- (8) 入学料・授業料の免除及び経済的支援については下記の愛知教育大学 Web サイトを参照してください。
https://www.aichi-edu.ac.jp/campus/support/menjo_nyugaku.html

入学手続に関するお問い合わせ先	学生支援課 TEL 0566-26-2173
-----------------	------------------------

(14). 学生寮への入寮について

学生寮への入寮を希望する者は、詳細を大学Webサイト

(<https://www.aichi-edu.ac.jp/campus/support/dormitory.html>)にて必ずご確認ください。

学生寮に関するお問い合わせ先	学生支援課学生寮担当 TEL 0566-26-2186
----------------	-----------------------------

14. 後期日程

(1). 入学者選抜方法

- 1) 入学者の選抜は、令和8年度大学入学共通テスト、本学の行う個別学力検査等及び出身高等学校もしくは中等教育学校の調査書を総合して行います。なお、2段階選抜は実施しません。
- 2) 1)の配点は7. 配点(35ページ)のとおりとし、その合計を総点とします。
- 3) 個別学力検査等は、計(300点)の30%を最低基準点とし、これに満たない場合は不合格とします。なお、総点及び共通テストの最低基準点は特に定めません。
- 4) 3)で不合格となった者を除き、各専攻、専修及びコース毎に第1志望の総点の高得点順位の者から合格者とします。ただし、複数の志望を認める専攻、専修にあっては、選択した志望(第1志望、第2志望)にかかわらず、同一の選抜基準で合格者を決定します。

(2). 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

本学に出願する場合は、令和8年度大学入学共通テストの教科・科目のうち、次の教科・科目を受験した者に限ります。なお、志願する専攻、専修及びコースによって受験を要する科目が異なるので十分注意してください。

課程・専攻・専修・コース	教科・科目名	
学校教員養成課程 義務教育専攻 日本語支援専修 国語専修 社会専修 高等学校教育専攻 国語・書道専修 地歴・公民専修 英語専修	国語 地歴 公民 理科 数学 外国語 情報	国 「地総、地探」「歴総、日探」「歴総、世探」 「地総／歴総／公」「公、倫」「公、政・経」から2 [30ページ<理科の選択方法について>参照]から1 「数Ⅰ、数A」 「数Ⅱ、数B、数C」 英、独、仏、中、韓 情報Ⅰ から1 〔6教科8科目〕
学校教員養成課程 義務教育専攻 算数・数学専修 理科専修 高等学校教育専攻 数学専修 理科専修	国語 地歴 公民 理科 数学 外国語 情報	国 「地総、地探」「歴総、日探」「歴総、世探」 「地総／歴総／公」「公、倫」「公、政・経」から1 [30ページ<理科の選択方法について>参照]から2 「数Ⅰ、数A」 「数Ⅱ、数B、数C」 英、独、仏、中、韓 情報Ⅰ から1 〔6教科8科目〕
学校教員養成課程 義務教育専攻 音楽専修 図画工作・美術専修 保健体育専修	国語 地歴 公民 理科 数学 外国語 情報	国 「地総、地探」「歴総、日探」「歴総、世探」 「地総／歴総／公」「公、倫」「公、政・経」から1 [30ページ<理科の選択方法について>参照]から1 「数Ⅰ、数A」 「数Ⅱ、数B、数C」 英、独、仏、中、韓 情報Ⅰ から1 〔6教科7科目〕
学校教員養成課程 幼児教育専攻 義務教育専攻 学校教育科学専修 家庭専修 特別支援教育専攻 養護教育専攻 教育支援専門職養成課程 心理コース 福祉コース 教育ガバナンスコース	国語 地歴 公民 理科 数学 外国語 情報	国 「地総、地探」「歴総、日探」「歴総、世探」2教科 「地総／歴総／公」「公、倫」「公、政・経」から3科目 [30ページ<理科の選択方法について>参照] 「数Ⅰ、数A」 「数Ⅱ、数B、数C」 英、独、仏、中、韓 情報Ⅰ から1 〔6教科8科目〕

<大学入学共通テストの利用教科・科目について>

- 1) 教科・科目名は次のように略しています。

国語→「国」， 地理歴史→「地歴」

「地理総合， 地理探究」→「地総， 地探」， 「歴史総合， 日本史探究」→「歴総， 日探」， 「歴史総合， 世界史探究」→「歴総， 世探」， 「地理総合／歴史総合／公共」→「地総／歴総／公」， 「公共， 倫理」→「公， 倫」， 「公共， 政治・経済」→「公， 政・経」

英語→「英」， ドイツ語→「独」， フランス語→「仏」， 中国語→「中」， 韓国語→「韓」

「数学Ⅰ」， 「数学A」→「数Ⅰ」， 「数A」， 「数学Ⅱ」， 「数学B」， 「数学C」→「数Ⅱ」， 「数B」， 「数C」

- 2) 地理歴史（以下「地歴」という。）及び公民については、合わせて1教科とします。地歴及び公民において、2科目受験する場合、選択できない組み合わせがあります（30ページ参照）。

「地理総合／歴史総合／公共」科目については、2出題範囲を選択解答します。

理科については、基礎を付していない科目は1つで1科目としますが、基礎を付した科目は4つの出題範囲から2つを選択して1科目とします。

- 3) 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」科目については、2出題範囲を選択解答します。

- 4) 指定した教科・科目数を超えて受験した場合の取り扱いについては、以下のとおりとします。

なお、「地歴・公民」及び「理科」を2科目受験する場合、前半に解答した科目を「第1解答科目」、後半に解答した科目を「第2解答科目」とします。

①「地歴・公民」から1科目選択となっている場合は、「地歴・公民」の「第1解答科目」の成績を用います。

②「理科」から1科目選択となっている場合は、「理科」の「第1解答科目」の成績を用います。

③「地歴・公民」，「理科」から2教科3科目選択となっている場合は、それぞれ「第1解答科目」と、いずれか高得点の「第2解答科目」の成績を用います。

- 5) 外国語の「英語」にはリスニングを含みます（リスニング免除者は除く）。

- 6) 大学入学共通テストの外国語の科目英語を利用する場合のリーディングとリスニングの配分比率については、リーディング（160点満点），リスニング（40点満点）に換算して200点満点とします。

なお、障害等により共通テストの英語におけるリスニングを免除された志願者の試験結果については、リーディングの成績を200点満点に換算します。

- 7) 情報については、100点満点のものを50点満点に換算します。

<地歴・公民の選択方法について>

教科	科目		地理歴史/公民の科目的選択方法
地理歴史/公民	(a)	「地理総合／歴史総合／公共」	左記科目的 6 科目のうちから最大 2 科目を選択し、解答します。 (a) : 必履修科目を組み合わせた出題科目 (b) : 必履修科目と選択科目を組み合わせた出題科目
	(b)	「地理総合、地理探究」「歴史総合、日本史探究」「歴史総合、世界史探究」「公共、倫理」「公共、政治・経済」	<ul style="list-style-type: none"> ・ (a) の「地理総合／歴史総合／公共」は、「地理総合」、「歴史総合」、及び「公共」の 3 つを出題範囲とし、そのうち 2 つを選択解答する。 ・ 2 科目を選択する場合、以下の組合せを選択することはできません。 <ul style="list-style-type: none"> <u>(b) のうち 2 科目を選択する場合</u> 「公共、倫理」と「公共、政治・経済」の組合せを選択することができません。 <u>(b) のうちから 1 教科及び (a) を選択する場合</u> (b) については、(a) で選択解答したものと同一名称を含む科目を選択することはできません。 (注 1)

(注 1) 地理歴史及び公民で 2 科目を選択する受験者が、(b) のうちから 1 科目及び (a) を選択する場合において選択可能な組合せは以下のとおりとなります。

		(a)		
		「地理総合」 「歴史総合」	「地理総合」 「公共」	「歴史総合」 「公共」
(b)	「地理総合、地理探究」	×	×	○
	「歴史総合、日本史探究」	×	○	×
	「歴史総合、世界史探究」	×	○	×
	「公共、倫理」	○	×	×
	「公共、政治・経済」	○	×	×

○：選択可能 ×：選択不可

<理科の選択方法について>

教科	課程	専攻、専修、コース	理科の科目的選択方法
理科	学校教員養成課程	算数・数学専修（義務教育）、数学専修（高等学校教育） 理科専修（義務教育）、理科専修（高等学校教育）	理科の科目欄の 5 つから基礎を付していない 4 つのうち 2 つを選択する。
		日本語支援専修 国語専修（義務教育）、国語・書道専修（高等学校教育） 社会専修（義務教育）、地歴・公民専修（高等学校教育） 音楽専修 図画工作・美術専修 保健体育専修 英語専修（高等学校教育）	理科の科目欄の 5 つから 1 つを選択する。
		幼児教育専攻 学校教育科学専修 家庭専修 特別支援教育専攻 養護教育専攻	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「地歴・公民」1 科目選択の場合は、理科の科目欄の 5 つから基礎を付していない 4 つのうち 2 つを選択する。 ・ 「地歴・公民」2 科目選択の場合は、理科の科目欄の 5 つから 1 つを選択する。
		心理コース 福祉コース 教育ガバナンスコース	
	教育支援専門職養成課程		

※1 共通テスト利用教科・科目のうち「地歴・公民」、「理科」の 2 教科からの選択利用となっている専攻、専修、コースは、「地歴・公民」から 1 科目選択の場合と「地歴・公民」から 2 科目選択の場合の選択方法に区分した。

※2 理科については、基礎を付していない科目は 1 つで 1 科目としますが、基礎を付した科目は 4 つの出題範囲から 2 つを選択して 1 科目とします。

※3 指定した教科・科目数を超えて受験した場合の取り扱いについては、以下のとおりとします。

なお、「地歴・公民」及び「理科」を 2 科目受験する場合、前半に解答した科目を「第 1 解答科目」、後半に解答した科目を「第 2 解答科目」とします。

○「地歴・公民」から 1 科目選択となっている場合は、「地歴・公民」の「第 1 解答科目」の成績を用います。

○「理科」から 1 科目選択となっている場合は、「理科」の「第 1 解答科目」の成績を用います。

○「地歴・公民」、「理科」から 2 教科 3 科目選択となっている場合は、それぞれ「第 1 解答科目」と、いずれか高得点の「第 2 解答科目」の成績を用います。

(3). 試験期日・試験場所

試験当日は、令和8年度大学入学共通テスト受験票及び本学の行う一般選抜（後期日程）の受験票の両方を必ず持参してください。

選 抜 日 程	試 駿 期 日	試 駿 場 所
後 期 日 程	令和8年3月12日(木)	愛知教育大学

(4). 試験時間割

日時等		3月12日(木)	
		教科・科目	時 間
学校教員養成課程	幼児教育専攻	AP試験	10:00～17:00
	学校教育科学専修	AP試験	10:00～17:00
	日本語支援専修	AP試験	10:00～17:00
	国語専修	AP試験	10:00～17:00
	社会専修	AP試験	10:00～17:00
	算数・数学専修	AP試験	10:00～17:00
	理科専修	AP試験	10:00～17:00
	音楽専修	AP試験	10:00～17:00
	図画工作・美術専修	AP試験	10:00～17:00
	保健体育専修	AP試験	10:00～17:00
高等学校教育専攻	家庭専修	AP試験	10:00～17:00
	国語・書道専修	AP試験	10:00～17:00
	地歴・公民専修	AP試験	10:00～17:00
	数学専修	AP試験	10:00～17:00
	理科専修	AP試験	10:00～17:00
養成課程 教育支援専門職	英語専修	AP試験	10:00～17:00
	特別支援教育専攻	AP試験	10:00～17:00
	養護教育専攻	AP試験	10:00～17:00
	心理コース	AP試験	10:00～16:00
	福祉コース	AP試験	10:00～16:00
	教育ガバナンスコース	AP試験	10:00～16:00

(5). 試験実施教科・科目等

日 程	出題教科・科目等		AP試験	合計
	学部・課程・専攻・専修・コース	教科数		
後期育成課程部	幼児教育専攻	出題教科	◎	1
		受験教科数	1	1
	学校教育科学専修	出題教科	◎	1
		受験教科数	1	1
	日本語支援専修	出題教科	◎	1
		受験教科数	1	1
	国語専修	出題教科	◎	1
		受験教科数	1	1
	社会専修	出題教科	◎	1
		受験教科数	1	1
	算数・数学専修	出題教科	◎	1
		受験教科数	1	1
	理科専修	出題教科	◎	1
		受験教科数	1	1
	音楽専修	出題教科	◎	1
		受験教科数	1	1
	図画工作・美術専修	出題教科	◎	1
		受験教科数	1	1
	保健体育専修	出題教科	◎	1
		受験教科数	1	1
	家庭専修	出題教科	◎	1
		受験教科数	1	1
	国語・書道専修	出題教科	◎	1
		受験教科数	1	1
	地歴・公民専修	出題教科	◎	1
		受験教科数	1	1
	数学専修	出題教科	◎	1
		受験教科数	1	1
	理科専修	出題教科	◎	1
		受験教科数	1	1
	英語専修	出題教科	◎	1
		受験教科数	1	1
	特別支援教育専攻	出題教科	◎	1
		受験教科数	1	1
	養護教育専攻	出題教科	◎	1
		受験教科数	1	1
	心理コース	出題教科	◎	1
		受験教科数	1	1
	福祉コース	出題教科	◎	1
		受験教科数	1	1
	教育ガバナンスコース	出題教科	◎	1
		受験教科数	1	1
摘要	AP試験とは、「アドミッション・ポリシーに基づく試験」のことで、本学が望む学生像に必要な学力を面接のなかで測るもので（討論、実技、筆記等を含むことがあります）。			

(6). AP試験（口述試験・集団討論・実技試験・筆記試験等を含む）

(※下記の内容以外は発表しません。)

専攻・専修・コース	内 容
幼児教育専攻	複数の教員による集団面接を行います。個々の理解力、思考力、判断力、コミュニケーション能力、自己表現力をみるとともに、幼稚園教諭や保育士への意欲・適正などを総合的に判断します。
学校教育科学専修	複数の教員による集団討論・集団面接を行います。教育の基本的事項に関する理解力、多様なものの見方、コミュニケーション能力、積極的に挑戦する態度をみるとともに、教職への志望の意欲・適性などを総合的に判断します。
日本語支援専修	複数の教員による個別面接により、日本語教育に関する興味・関心をみるとともに、教職への意欲・適性などを総合的に判断します。
国語専修 国語・書道専修	複数の教員による集団面接により、国語に関する理解力、思考力、表現力などを問うるとともに、教職への意欲・適性などを総合的に判断します。
社会専修 地歴・公民専修	複数の教員による集団面接により、地理歴史・公民の教科に関する内容を問うるとともに、教職への意欲・適性などを総合的に判断します。
算数・数学専修 数学専修	複数の教員による集団面接。面接時間内に数学内容に関する質問の解答を筆記させ、その解答を基にした質疑応答により、教職への意欲・適性などを総合的に判断します。
理科専修 (義務教育) 理科専修 (高等学校教育)	複数の教員による個別もしくは集団面接により、理科（物理・化学・生物・地学）の教科に関する知識や実験について口頭及び筆記により問うるとともに、教職への意欲・適性などを総合的に判断します。
音楽専修	複数の教員による個別面接。プレゼンテーションとして、自己PR（教職への関心と音楽実技）を行うとともに、教職への意欲・適性などを総合的に判断します。 * 1
图画工作・美術専修	鉛筆デッサンで観察力と描写力をみるとともに、複数の教員による個別もしくは集団面接を行い、教職への意欲・適性などを総合的に判断します。 * 2
保健体育専修	体育実技により基礎的運動能力をみるとともに、複数の教員による個別面接を行い、教職への意欲・適性などを総合的に判断します。 * 3
家庭専修	複数の教員による個別もしくは集団面接により、生活の諸問題に対する興味・関心をみるとともに、教職への意欲・適性などを総合的に判断します。
英語専修 (高等学校教育)	複数の教員による個別もしくは集団面接により、英語の教科に関する知識・関心・技能をみるとともに、教職への意欲・適正などを総合的に判断します。
特別支援教育専攻	複数の教員による個別面接により、障害のある子どもたちの教育に対する意欲・関心をみるとともに、教職への意欲・適性などを総合的に判断します。
養護教育専攻	複数の教員による集団面接により、健康に関する領域についての知識と関心をみるとともに、教職への意欲・適性などを総合的に判断します。

専攻・専修・コース	内 容
心 理 コ ー ス	複数の受験生による集団討論により、教育支援に対する関心・理解・意欲・態度等を総合的に判断します。
福 祉 コ ー ス	複数の受験生による集団討論により、教育支援に対する関心・理解・意欲・態度等を総合的に判断します。
教育ガバナンスコース	複数の受験生による集団討論により、教育支援に対する関心・理解・意欲・態度等を総合的に判断します。

注1 受験者数によっては、面接方法を変更することがあります。

注2 学校教員養成課程出願者は、出願時に「教職志望理由書」を提出する必要があります。

* 1 自己PRとしての演奏は、ピアノもしくは声楽の任意な一曲を演奏します。

声楽を選択した場合、ピアノ伴奏が必要な方は、願書提出時に各自演奏する楽譜（伴奏付き）を提出してください。なお、すべての演奏は暗譜とします。

* 2 鉛筆（2B）、消しゴム等、使用する用具はすべて本学で用意します。

持参する用具はなく、本学で配布する用具以外のものは使用できません。

* 3 室内で行います。体育館用シューズを各自持参してください。また、万一の事故に備え、保険証等を持参してください。

本学所定の「保健体育志願者健康診断書」（本学入試情報特設Webサイトからダウンロード）により、負荷心電図の所見を提出してください。なお、志願者は各自で、所見の有無を確認してください。もし、異常所見がある時には、さらに精密検査を受け、その検査結果を併せて提出してください。その内容によっては実技検査の一部を受験させないことがあります。

(7). 配点

後期日程の大学入学共通テストと個別学力検査等の配点は次のとおりです。

区分			大学入学共通テスト						個別学力検査等	
			国語	地理歴史・公民	理科	数学	外国語(注3)	情報(注4)	計(注5)	A P試験
課程・専攻・専修・コース										計
学校教員養成専攻	幼児教育専攻		200	*300(注2)		200	200	50	300	300
	義務教育教科指導系	学校教育科学専修		200	*300(注2)		200	200	50	300
		日本語支援専修		200	200	100	200	200	50	300
		国語専修	200	200	100	200	200	50	300	300
		社会専修	200	200	100	200	200	50	300	300
		算数・数学専修	200	100	200	200	200	50	300	300
		理科専修	200	100	200	200	200	50	300	300
		音楽専修	200	100	100	200	200	50	300	300
		図画工作・美術専修	200	100	100	200	200	50	300	300
		保健体育専修	200	100	100	200	200	50	300	300
	家庭専修		200	*300(注2)		200	200	50	300	300
成課	高等学校教科習開発系	国語・書道専修	200	200	100	200	200	50	300	300
		地歴・公民専修	200	200	100	200	200	50	300	300
		数学専修	200	100	200	200	200	50	300	300
		理科専修	200	100	200	200	200	50	300	300
		英語専修	200	200	100	200	200	50	300	300
程	特別支援教育専攻		200	*300(注2)		200	200	50	300	300
	養護教育専攻		200	*300(注2)		200	200	50	300	300
教育支援課程専門職	心理コース		200	*300(注2)		200	200	50	950	300
	福祉コース		200	*300(注2)		200	200	50	950	300
	教育ガバナンスコース		200	*300(注2)		200	200	50	950	300

注1) 配点に*が付してある教科は選択教科を表します。

注2) 大学入学共通テストの地理歴史、公民及び理科から2教科3科目の成績（各科目100点）を用います。

注3) 大学入学共通テストの外国語科目から英語を利用する場合のリーディングとリスニングの配分比率については、リーディング（160点満点）・リスニング（40点満点）に換算して200点満点とします。

注4) 大学入学共通テストの情報については、100点満点のものを50点満点に換算します。

注5) 学校教員養成課程は、大学入学共通テストの配点を掛率により、300点に調整します。

(8). 志望の方法等

専攻・専修について併願できる範囲は、次のとおりです。

専攻・専修	併願先（第2志望）
義務教育専攻	高等学校教育専攻
国語専修	国語・書道専修
社会専修	地歴・公民専修
算数・数学専修	数学専修
理科専修	理科専修
高等学校教育専攻	義務教育専攻
国語・書道専修	国語専修
地歴・公民専修	社会専修
数学専修	算数・数学専修
理科専修	理科専修

(注) 上記以外の専攻・専修については、他の専攻・専修を併願することはできません。

(9). 合格者発表

1) 日時・場所・方法

日 時：令和8年3月23日（月） 15:00 以降

方 法：合格者の受験番号を専攻・専修・コース別に本学入試情報特設Webサイトに掲載します。

(本学入試情報特設Webサイト：<https://www.aichi-edu.ac.jp/exam/>)

なお、併願先（第2）で合格した場合は、その専攻・専修に掲示されるので注意してください。

注) 電話その他のによる問い合わせには一切応じません。

2) 合格通知書の交付

「合格通知書」及び「入学手続関係書類」は、下記交付場所にて直接交付します。

注) 「合格通知書」及び「入学手続関係書類」は郵送されません。

(1) 後期日程

日 時	交 付 場 所
令和8年3月24日（火） 9:00～16:00 注	愛知教育大学 入試課 (本部棟1階)
令和8年3月25日（水） 9:00～16:00	
令和8年3月26日（木） 9:00～15:00	
令和8年3月27日（金） 9:00～12:00 ※予備日	愛知教育大学 入試課 (本部棟1階)

注) 3月24日（火）は同日中に「入学手続」を行うことはできません。

(2) その他

合格通知書受領の際は、「大学入学共通テスト受験票」及び「愛知教育大学受験票」を持参してください。

本人又は本人の代理人に合格通知書及び入学手続関係書類を交付します。

なお、3月26日(木)15時までに合格通知書を受領できない場合は、速やかに入試課〔0566-26-2202〕に連絡してください。

3) 追加合格者の通知

入学手続完了者が募集人員に満たない場合には、合格者の追加を行うことがあります。この追加合格者の決定通知は次のとおりです。

(1) 期日：令和8年3月28日(土)以降

(2) 方法：出願確認票に記載されている電話番号により、本人に直接連絡します。

入学意志の確認は直接本人に行うので、本人が不在の場合でも連絡が直ちに行えるように所在を明らかにしておいてください。

(10). 入学手続

入学手続は下記の日時・場所で行います。入学手続の詳細は合格通知書の交付時にお渡しします「入学手続要項」をご覧ください。

1) 日時・場所

日 時	場 所
令和8年3月25日(水)	9:00～12:00
令和8年3月26日(木)	13:00～16:00

やむを得ず上記の日時に入学手続ができない場合は、必ず事前に本学学生支援課〔0566-26-2173〕へ連絡した上で令和8年3月27日(金)に本学学生サポートセンター内の学生支援課までお越しください。(受付は9:00～12:00)

○入学手続時に持参するもの

- ①大学入学共通テスト受験票 *1
- ②入学手続関係書類 *2
- ③写真(4cm×3cm) 1枚(学生カード用)
- ④最終出身学校卒業証明書
- ⑤本籍地が記載された証明書類(住民票の写し、住民票記載事項証明書等*3)
【学校教員養成課程合格者のみ提出】

*1 手続き時に本学の入学手続完了済印を押印します。

*2 合格通知書を交付する際に渡します。

*3 マイナンバーの記載不要、入学者本人の事項のみ記載されたもの

○入学手続に関するお問い合わせ先

(全般)

学生支援課 TEL 0566-26-2173

(入学料等納入金関係)

財務課 TEL 0566-26-2147

(入学料・授業料免除関係)

学生支援課 TEL 0566-26-2184

※合格発表から入学手続までの期間が短いので、写真等入学手続に必要な書類の準備に留意してください。

2) 入学料等納入金

入学料	282,000 円	(参考) 前期分授業料 後期分授業料	267,900 円 267,900 円
入学時諸費用（※ ₁ ）	54,660 円		

入学料及び入学時諸費用については、入学手続時までに必ず納入していただきます。また、授業料の納入については、4月以降に行っていただきますので、その納入方法は**合格者の方に交付する「入学手続要項」**において指示します。（入学時及び在学中に納入金の改定が行われた場合には、改定期から新入学料、新入学時諸費用及び新授業料を適用します。）

※₁ 入学時諸費用は、通学中や教育実習などの活動中の事故等に係る保険料（4年間分）、教育研究経費、大学行事、就職、課外活動及び福利厚生への支援など様々な学生支援事業のための費用で、入学時ののみの費用です。

○納入方法

入学料及び入学時諸費用については、合格者の方にお渡しする「入学手続関係書類」に同封の払込書（大学指定のもの）にて、入学手続時までに最寄りのゆうちょ銀行又は郵便局の窓口（*4）にて納入してください。

なお、3月25日（水）・26日（木）に「入学手続要項」を受け取り後すぐに入学手続をする場合、大学近隣の郵便局（刈谷井ヶ谷簡易郵便局）などを適宜ご利用ください。

*4 ATMは使用しないでください。

3) 留意事項

- (1) 所定の入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものとして取り扱います。
- (2) 一つの国公立大学（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学を除く）に入学手続を行った者は、これを取り消して他の国公立大学に入学手続を行うことはできません。
- (3) 追加合格者の入学手続については別途通知します。（追加合格の場合にも大学入学共通テスト受験票がなければ入学手続はできないので、少なくとも4月初旬までは紛失しないよう留意してください。）
- (4) 入学手続き完了後、入学を辞退する場合は、令和8年3月31日（火）15時までに入試課（0566-26-2202）へ連絡のうえ、入学辞退届（様式は任意）を提出してください。
- (5) 本学では、入学までにすべての学部学生に教材用パソコンを用意して頂くことになっていますのでご承知おき下さい。教材用パソコンの詳細については入学手続きの案内時にお知らせします。（本学生協で教材用パソコンに適したものを販売していますが、仕様を満たすものであれば、他の市販のパソコンや既存のパソコンをお持ち頂くこともあります。）
- (6) 入学手続き完了後に本学への入学を辞退する場合、納入済の入学料はいかなる理由があっても返還いたしません。
- (7) 入学料免除又は徴収猶予申請者が入学手続完了（免除等申請）後に入学を辞退した場合は「免除等申請を辞退」したものとなりますので、直ちに入学料を納入していただきます。
- (8) 入学料・授業料の免除及び経済的支援については下記の愛知教育大学 Web サイトを参照してください。
https://www.aichi-edu.ac.jp/campus/support/menjo_nyugaku.html

入学手続に関するお問い合わせ先	学生支援課 TEL 0566-26-2173
-----------------	------------------------

（11）学生寮への入寮について

学生寮への入寮を希望する者は、詳細を大学 Web サイト
(<https://www.aichi-edu.ac.jp/campus/support/dormitory.html>)にて必ずご確認ください。

学生寮に関するお問い合わせ先	学生支援課学生寮担当 TEL 0566-26-2186
----------------	-----------------------------

令和7年度入学 個別学力検査等結果

前期日程

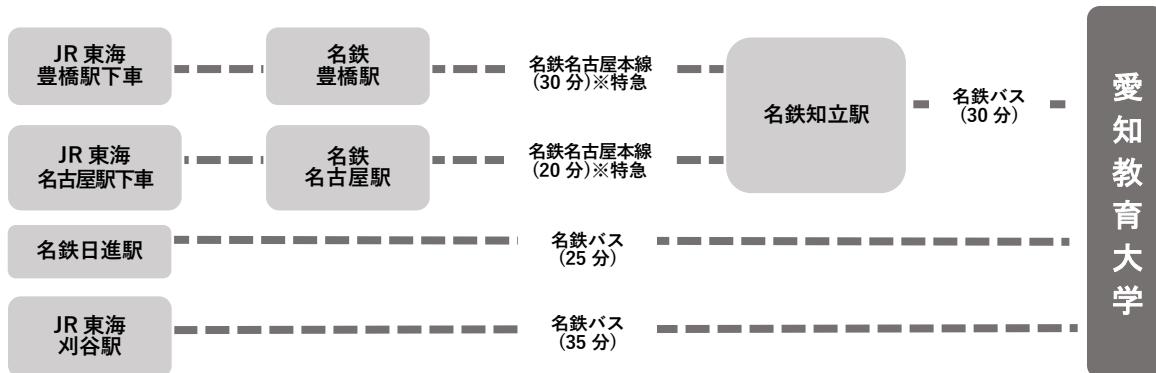
課程・専攻・専修・コース		募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者	総点			共通テスト			
							配点	合格者最高点	合格者最低点	合格者平均点	配点	合格者最高点	合格者最低点
義務教育専攻	幼児教育専攻	18	66	59	18	15	1,460	1,104	927	981.2	950	706	537
	学校教育科学専修	17	41	35	19	18	1,460	1,062	917	972.4	950	729	565
	生活・総合専修	5	12	11	8	8	1,460	995	900	929.1	950	605	545
	ICT活用支援専修	14	25	22	19	18	1,460	1,021	870	901.9	950	659	513
	日本語支援専修	14	57	56	24	24	1,460	1,035	847	895.0	950	715	539
	国語専修	37	94	78	41	40	1,460	1,146	928	979.7	950	786	590
	社会専修	39	94	77	43	43	1,460	1,152	1,010	1,066.7	950	721	542
	算数・数学専修	44	142	126	57	56	1,460	1,103	909	971.1	950	756	553
	理科専修	54	126	118	74	72	1,460	1,087	838	928.2	950	692	459
	音楽専修	17	29	23	17	16	1,460	1,093	823	938.2	950	666	471
	図画工作・美術専修	18	41	39	20	17	1,460	1,008	874	926.3	950	640	503
	保健体育専修	36	105	97	41	40	1,460	1,026	910	954.9	950	687	539
	ものづくり・技術専修	9	19	18	12	12	1,460	985	786	868.8	950	557	437
	家庭専修	18	35	27	20	20	1,460	1,083	871	921.6	950	716	511
	英語専修	11	22	19	13	13	1,460	1,021	887	951.9	950	706	623
	高等学校教育専攻	6	17	16	7	7	1,460	1,133	999	1,053.6	950	763	672
	教科習習開発系	5	24	23	5	5	1,460	1,190	1,106	1,131.6	950	729	658
	数学専修	10	45	44	11	10	1,460	1,163	1,047	1,084.3	950	719	634
	理科専修	15	36	30	19	18	1,460	1,133	905	1,007.8	950	726	535
	英語専修	10	29	26	14	14	1,460	1,081	884	961.9	950	744	591
	特別支援教育専攻	15	50	46	16	15	1,460	1,099	919	971.6	950	707	545
	養護教育専攻	25	58	46	26	25	1,460	1,117	934	1,008.9	950	759	527
	小計	437	1,167	1,036	524	506							
教育支援専門職	心理コース	30	93	84	42	39	1,260	964	797	849.0	950	698	581
	福祉コース	10	35	31	14	14	1,260	881	756	802.7	950	700	568
	教育ガバナンスコース	30	90	81	50	47	1,260	912	721	780.7	950	663	522
	小計	70	218	196	106	100							
合計		507	1,385	1,232	630	606							
備考		・併願による合格があることから、合格者数が受験者数を上回ることがあります。 ・合格者数が5名未満の場合は合格者データを表示しません。 ・最高点・最低点は、小数点以下を省略して表示しています。 ・合格者には追加合格者を含みません。											

令和7年度入学 個別学力検査等結果

後期日程

課程・専攻・専修・コース			募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者	総点				共通テスト					
								配点	合格者最高点	合格者最低点	合格者平均点	配点	合格者最高点	合格者最低点			
義務教育専攻	幼児教育専攻		3	89	43	6	6	600	470	456	460.7	300	204	184			
	学校教育科学専修		4	46	14	6	4	600	449	392	409.5	300	224	175			
	日本語支援専修		2	50	21	2	2	600				300					
	教科指導系	国語専修		4	78	26	4	4	600				300				
		社会専修		10	112	41	10	10	600	529	468	481.6	300	242	193		
		算数・数学専修		6	116	38	7	6	600	495	436	460.1	300	215	179		
		理科専修		4	116	35	5	4	600	448	428	436.8	300	209	148		
		音楽専修		4	42	7	5	5	600	449	367	401.2	300	194	98		
		図画工作・美術専修		3	42	20	5	5	600	450	386	409.8	300	208	158		
		保健体育専修		6	97	42	6	6	600	515	450	468.5	300	252	186		
		家庭専修		3	31	5	3	3	600				300				
課程	教科習習開発系	国語・書道専修		2	21	4	2	1	600				300				
		地歴・公民専修		2	24	11	2	2	600				300				
		数学専修		2	34	6	2	1	600				300				
		理科専修		2	36	12	3	3	600				300				
		英語専修		2	26	10	2	2	600				300				
養成課程	特別支援教育専攻			6	67	27	6	6	600	411	375	388.2	300	179	149		
	養護教育専攻			3	57	11	3	3	600				300				
	小計			68	1,084	373	79	73									
教育支援専門職	心理コース		5	79	20	6	6	1,250	928	874	893.5	950	727	609			
	福祉コース		4	69	30	4	3	1,250				950					
	教育ガバナンスコース		15	145	39	16	11	1,250	964	824	870.9	950	734	576			
	小計		24	293	89	26	20										
合計			92	1,377	462	105	93										
備考			・併願による合格があることから、合格者数が受験者数を上回ることがあります。 ・合格者数が5名未満の場合は合格者データを表示しません。 ・最高点・最低点は、小数点以下を省略して表示しています。 ・合格者には追加合格者を含みません。														

◆ 愛知教育大学へのアクセス



- 名鉄名古屋本線「知立駅」北口からバスで約 30 分「愛知教育大前」下車
- 名鉄豊田線「日進駅」からバスで約 25 分「愛知教育大前」下車
- JR 東海道本線「刈谷駅」北口からバスで約 35 分「愛知教育大前」下車

※鉄道・バスの発着時刻等については、各交通機関の Web サイト等でご確認ください。

本学 Web サイト <https://www.aichi-edu.ac.jp/>

◎ 出願状況

令和 8 年 1 月 26 日（月）16 時 30 分から

◎ 追加合格に関するお知らせ

令和 8 年 3 月 28 日（土）9 時から令和 8 年 3 月 31 日（火）まで

本文内容等に変更が生じた場合は、本学 Web サイトにて公表しますので、こちらをご確認ください。

※入学試験中止又は試験開始時刻変更等のお知らせについて
台風・雪・地震等による災害、試験実施上の事故等の事情により、
試験が所定の期日に実施できない場合又は交通機関の乱れ等による
試験開始時刻変更のお知らせ等は、上記 Web サイトでご確認ください。

問い合わせ先

〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢 1
愛知教育大学 入試課

TEL 0566-26-2202 FAX 0566-26-2200
Mail nyushi-madoguchi@uecc.aichi-edu.ac.jp

※電話等によるお問い合わせは、必ず志願者本人が行ってください。